

資料 1

市民アンケートについて

調査概要

- 目的

市にとって望ましい将来の地域公共交通を示す「江南市地域公共交通計画」の策定をするため、市民の「普段の交通行動実態等」や、「公共交通に対する要望」を調査した。

- 対象

市内にお住まいの15歳以上の方から無作為に抽出した2,000人

回収数：紙媒体643人、Web回答321人

- 回答期間

2025/10/15（水）～10/27（月）

【年齢ごとの回答率】

選択肢	配布数	件数	回答率
20歳未満	105	32	30.5%
20歳代	217	57	26.3%
30歳代	218	90	41.3%
40歳代	274	125	45.6%
50歳代	366	174	47.5%
60～64歳	151	89	58.9%
65～69歳	122	75	61.5%
70～74歳	137	91	66.4%
75～79歳	162	96	59.3%
80～84歳	131	74	56.5%
85～89歳	77	45	58.4%
90歳以上	40	15	37.5%
無回答		1	
計	2000	964	48.2%

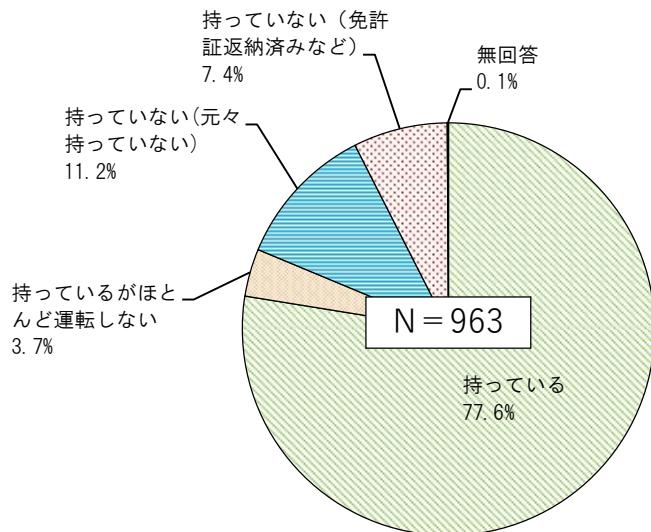
主な設問

- 回答者の属性
性別、年齢、居住地域、免許証の有無等
- 外出の頻度や目的
目的別に頻度や時間帯、主な外出先、手段について
- 公共交通等に対する評価や利用状況等について
公共交通に不便を感じているか、交通手段別の満足度と重要度について
- 将来的な公共交通施策について
路線バスの維持、いこまいCARのあり方、新しい公共交通の利用意向等

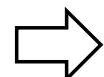
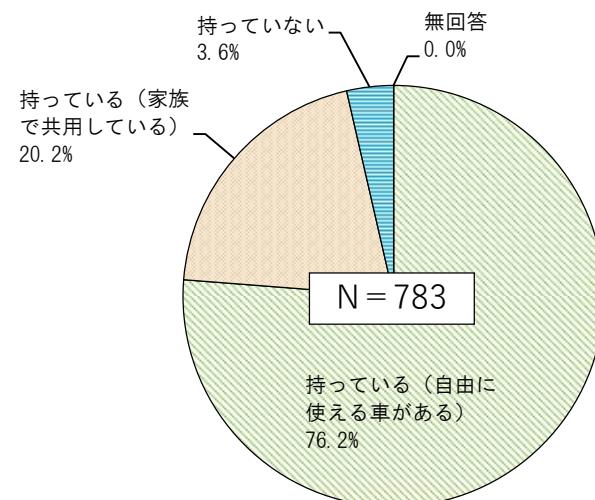
自動車の運転について ①

高齢化に伴う、高齢ドライバーの増加や交通事故などは全国的な課題となっている。
高齢ドライバーによる交通事故の抑止を図る必要がある。

問：運転免許証はお持ちですか



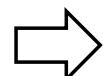
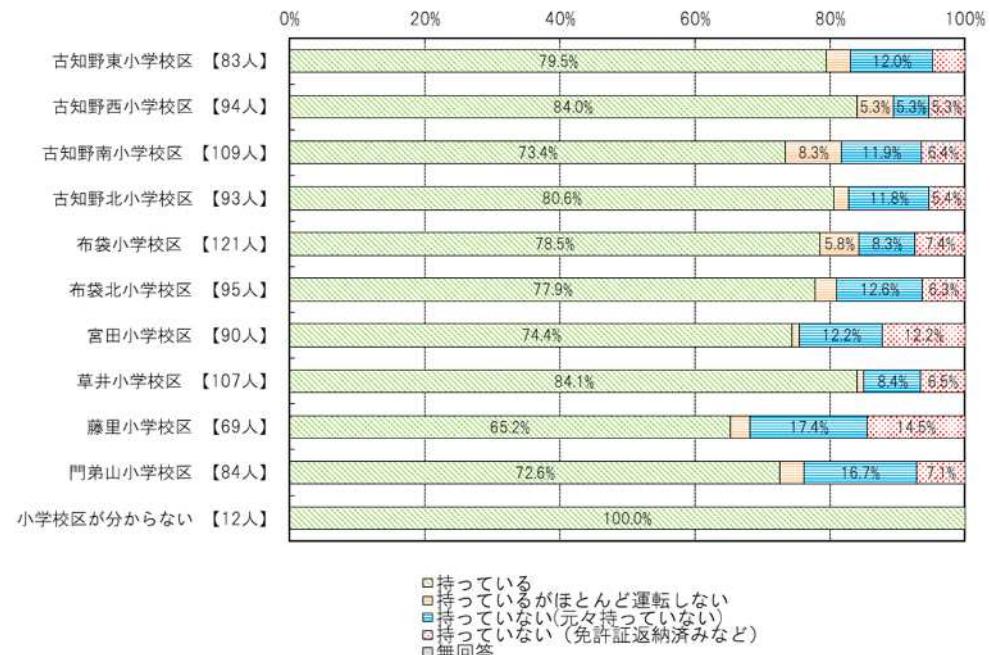
問：自家用車はお持ちですか



- ・自家用車の保有率は極めて高い。
- ・市民の移動が車中心であることが分かる。

自動車の運転について ②

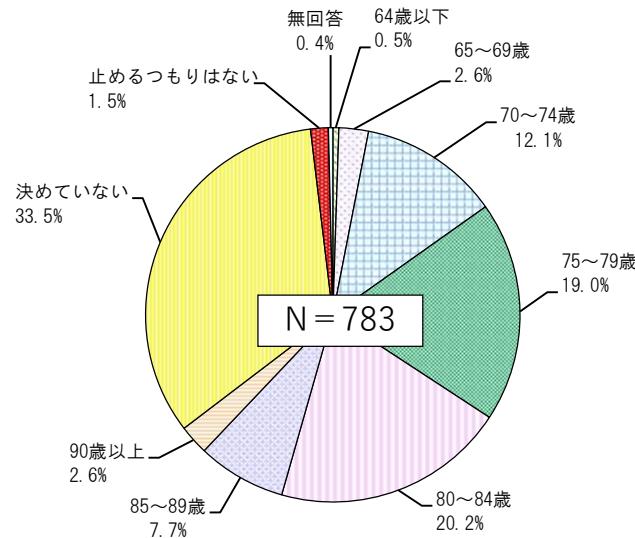
問：運転免許証はお持ちですか



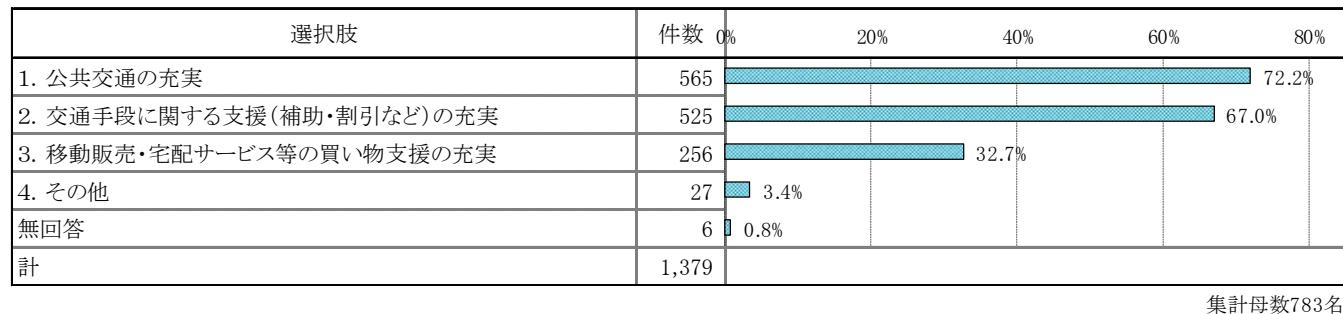
- ・免許証の保有率は年齢層が上がるにつれ減少する。
- ・高齢者ほど自由に移動できる手段を有していないと考えられる。

自動車の運転について ③

問：運転免許証を返納するなど、自動車の運転を止めようと思う年齢を教えてください



問：運転能力の低下などご自身の事情を除いて、どのような条件が整えば自動車の運転を止めてもよいと思いますか（複数回答）

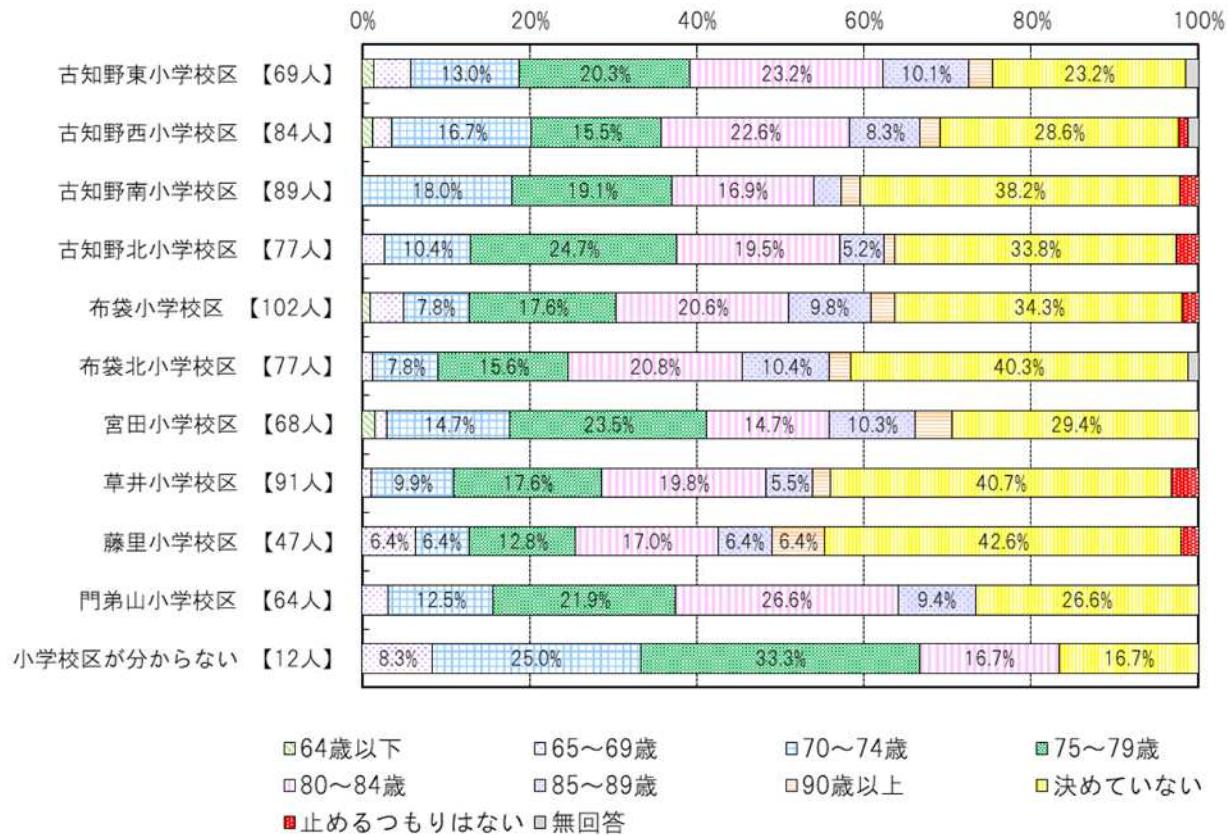


- • 75~79歳、80~84歳が運転を止めてもよいという年齢に想定されている。

- 運転を止めるためには、公共交通の充実や移動手段に関する支援の充実が不可欠。

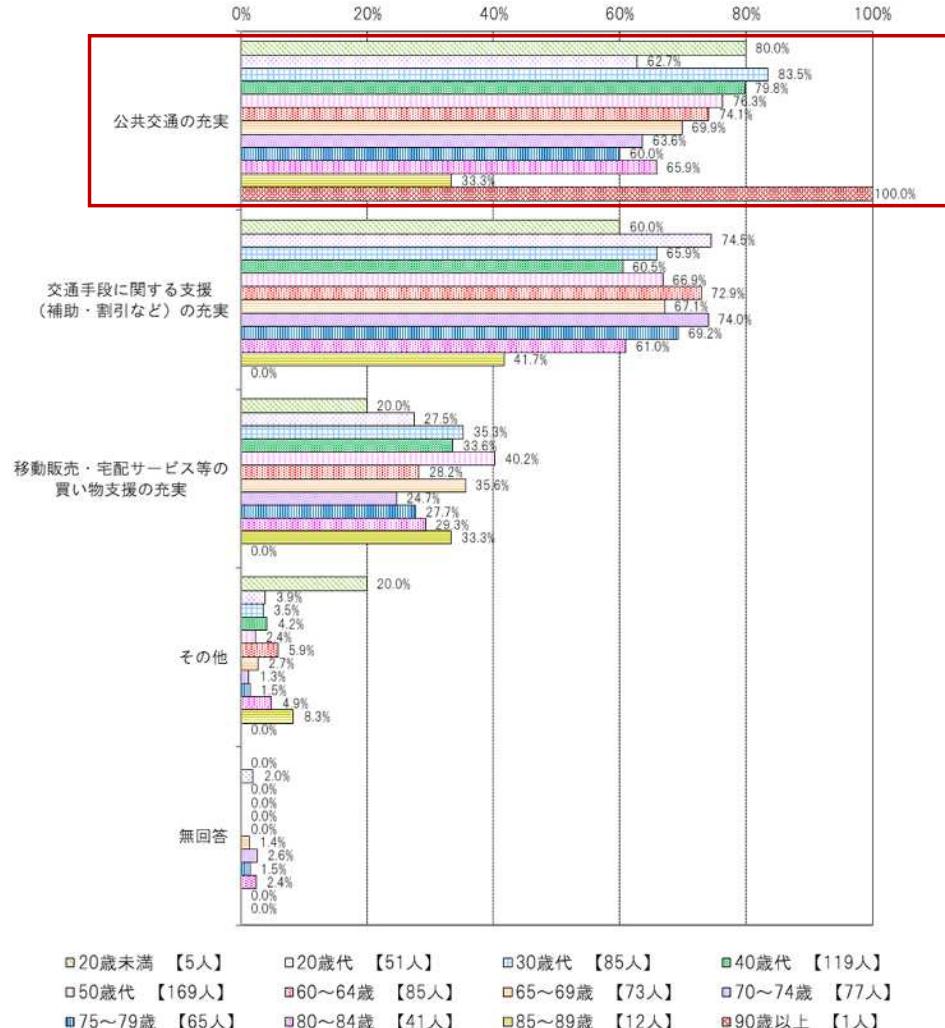
自動車の運転について ④

問：運転免許証を返納するなど、自動車の運転を止めようと思う年齢を教えてください

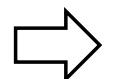


-
- ・布袋北小学校区、草井小学校区、藤里小学校区では70歳台までに運転を止めようと思う回答が少ない。
 - ・早期に運転を止めようと思うことは公共交通の利便性と関連がある可能性がある。

自動車の運転について ⑤



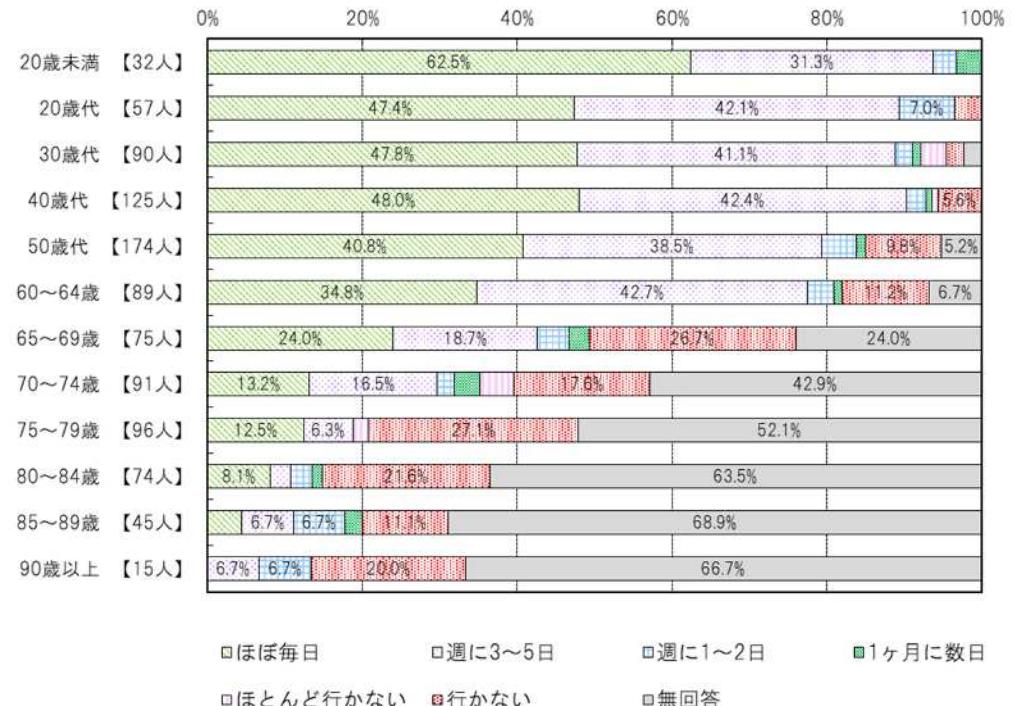
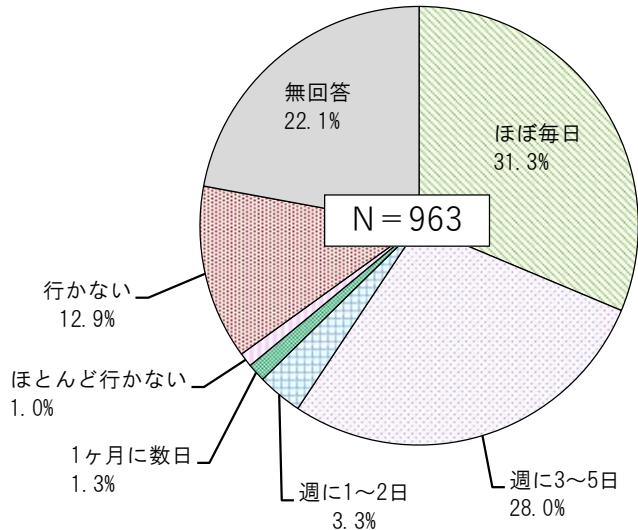
問：運転能力の低下などご自身の事情を除いて、どのような条件が整えば自動車の運転を止めてもよいと思いますか（複数回答）



- ・「公共交通の充実」により運転をやめられるという回答は年齢層とともに減少する。
- ・高齢者ほど、単純な「公共交通の充実」のみでは解決されない課題があると推測される。

外出の頻度や目的（通勤・通学）

問：外出する「頻度」を教えてください



- ・通勤・通学で外出をする人は約65%で、「ほぼ毎日」と「週に3~5日」の割合が高い。
- ・年齢層が高いほど外出頻度が低くなる。

外出の頻度や目的（通勤・通学）

問：外出の「時間帯」を教えてください（複数回答）

出発の時間帯

選択肢	件数	0%	20%	40%	60%	80%
1. 0～6時	46	7.3%				
2. 6～9時	464					74.0%
3. 9～12時	122	19.5%				
4. 12～15時	51	8.1%				
5. 15～18時	35	5.6%				
6. 18～21時	15	2.4%				
7. 21～24時	7	1.1%				
無回答	15	2.4%				
計	755					

集計母数627名

帰宅の時間帯

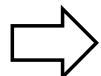
選択肢	件数	0%	20%	40%	60%	80%
1. 0～6時	15	2.4%				
2. 6～9時	19	3.0%				
3. 9～12時	29	4.6%				
4. 12～15時	90	14.4%				
5. 15～18時	229					36.5%
6. 18～21時	319					50.9%
7. 21～24時	77	12.3%				
無回答	23	3.7%				
計	801					

集計母数627名

問：「主な外出先」を教えてください。

市内：高屋町、古知野町、松竹町、村久野町、赤童子町

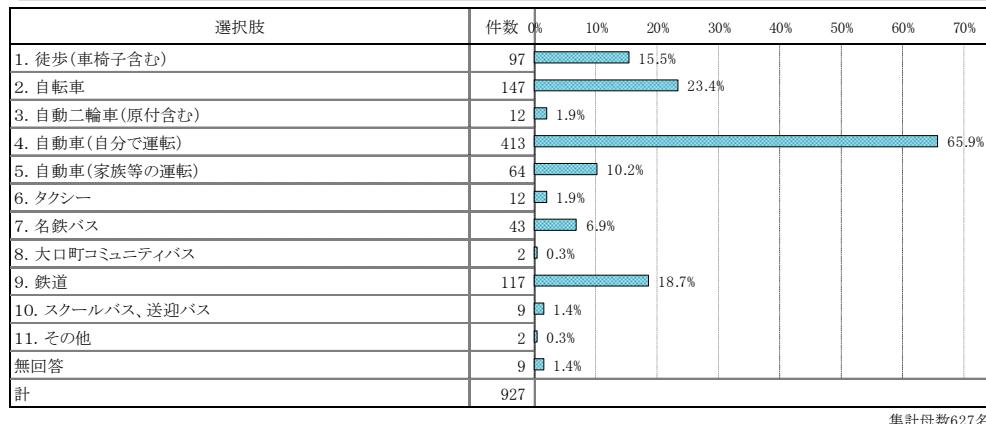
市外：名古屋市、大口町、一宮市、小牧市、扶桑町



- ・出発時間は「6～9時」が最も集中している。帰宅時間は「18～21時」が最も多く、次に「15～18時」が続いている。
- ・市内の外出先は「高屋町」、市外の外出先は「名古屋市」が多い。

外出の頻度や目的（通勤・通学）

問：目的地までの「移動手段」を教えてください（複数回答）

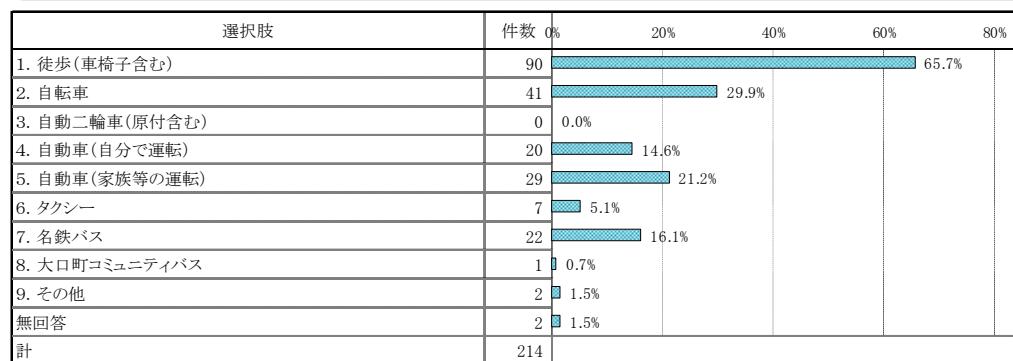


集計母数627名



- 「自動車（自分で運転）」が最も大きな割合を占める。
- 「名鉄バス」を利用し、鉄道、バスに乗り継いでいる人は16.1%であり、藤里小学校区の割合が高い。

問：鉄道、バスを利用する場合、駅またはバス停までの「移動手段」を教えてください（複数回答）

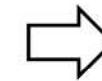
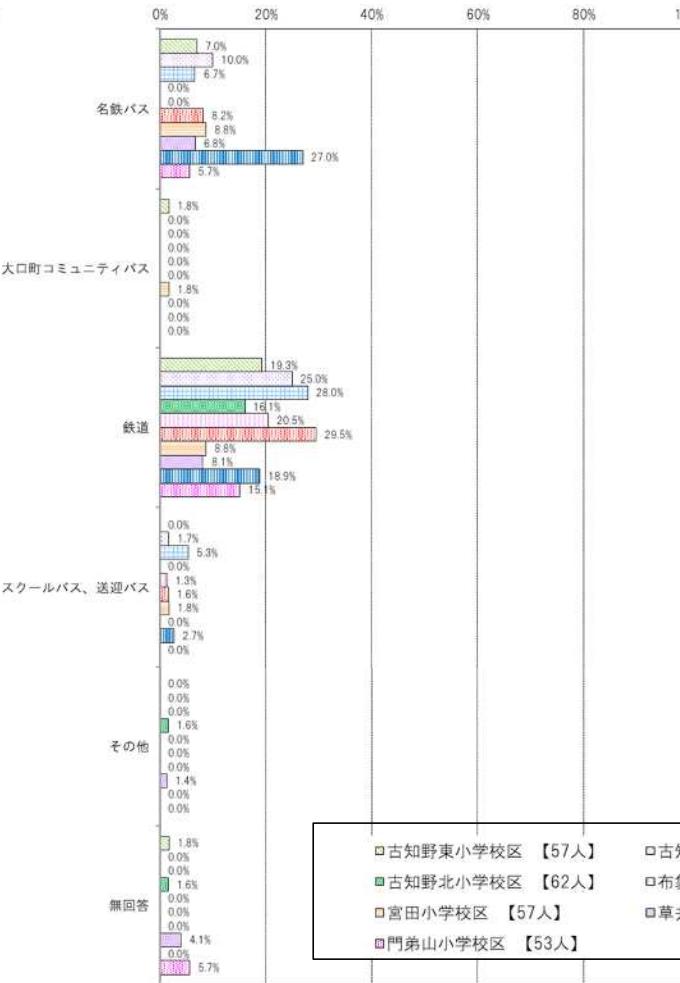
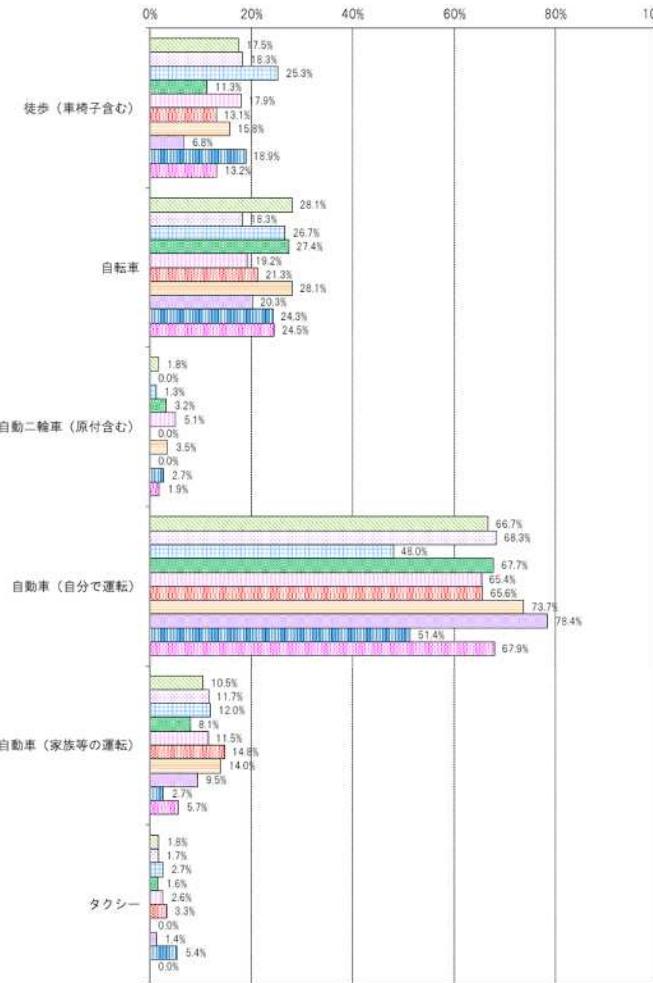


集計母数137名

- 車での移動が非常に多く、平日の6～9時で混雑が生じると考えられる。
- 名古屋市への通勤通学が多いことがわかり、鉄道との接続の重要性が示唆される。

外出の頻度や目的（通勤・通学）

問：目的地までの「移動手段」を教えてください（地域別）（複数回答）



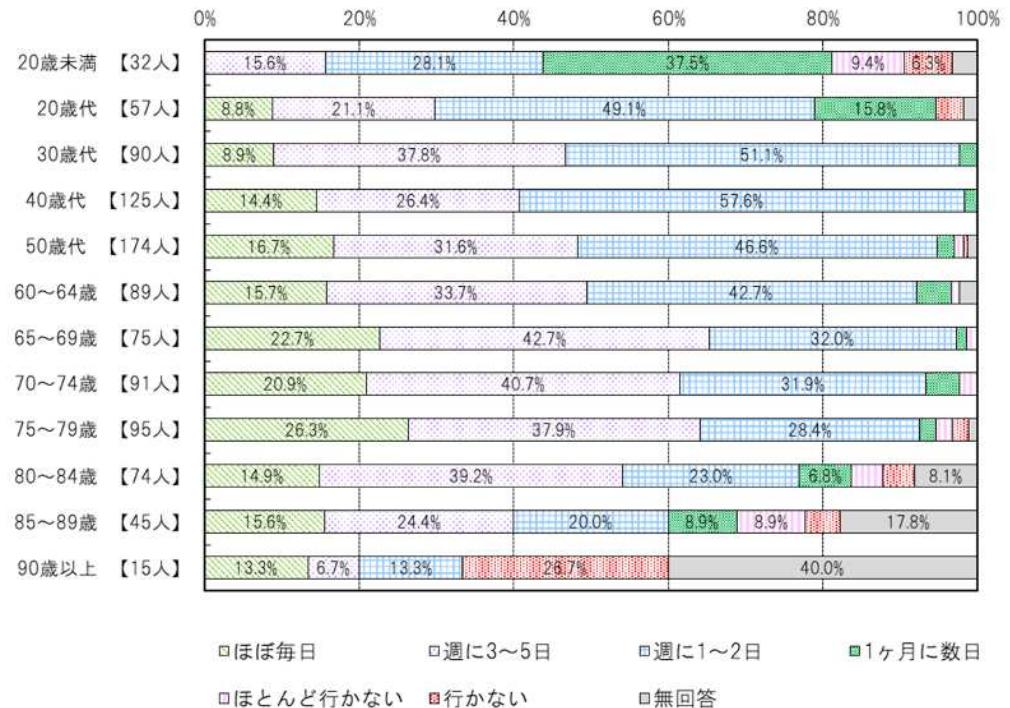
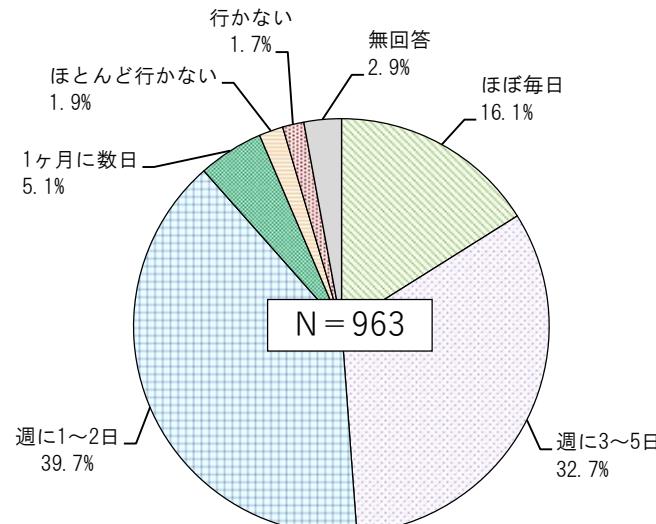
・名鉄バスを利用するるのは藤里小学校が最も多い。

・藤里小学校区は身近にバス停がある住民も多く、他地域と比較し名鉄バスを利用しやすい環境にあると考えられる。

□古知野東小学校区 【57人】	□古知野西小学校区 【60人】	□古知野南北小学校区 【75人】
■古知野北小学校区 【62人】	■布袋小学校区 【78人】	■布袋北小学校区 【61人】
□宮田小学校区 【57人】	□草井小学校区 【74人】	□藤里小学校区 【37人】
■門弟山小学校区 【53人】		

外出の頻度や目的（買い物・娯楽）

問：外出する「頻度」を教えてください



- ・買い物や娯楽で外出する人はほとんどで、「週に3~5日」「週に1~2日」の割合が比較的多い。
・65~79歳では外出頻度が高い傾向にあり、年齢層が低いほど頻度は低い傾向である。

外出の頻度や目的（買い物・娯楽）

問：外出の「時間帯」を教えてください（複数回答）

出発の時間帯

選択肢	件数	0%	20%	40%	60%	80%
1. 0～6時	9	1.0%				
2. 6～9時	106	11.5%				
3. 9～12時	596				64.9%	
4. 12～15時	336			36.6%		
5. 15～18時	257		28.0%			
6. 18～21時	120		13.1%			
7. 21～24時	21	2.3%				
無回答	38	4.1%				
計	1,483					

集計母数919名

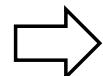
帰宅の時間帯

選択肢	件数	0%	20%	40%	60%	80%
1. 0～6時	9	1.0%				
2. 6～9時	31	3.4%				
3. 9～12時	326			35.5%		
4. 12～15時	340			37.0%		
5. 15～18時	399			43.4%		
6. 18～21時	236		25.7%			
7. 21～24時	86	9.4%				
無回答	74	8.1%				
計	1,501					

集計母数919名

問：「主な外出先」を教えてください。

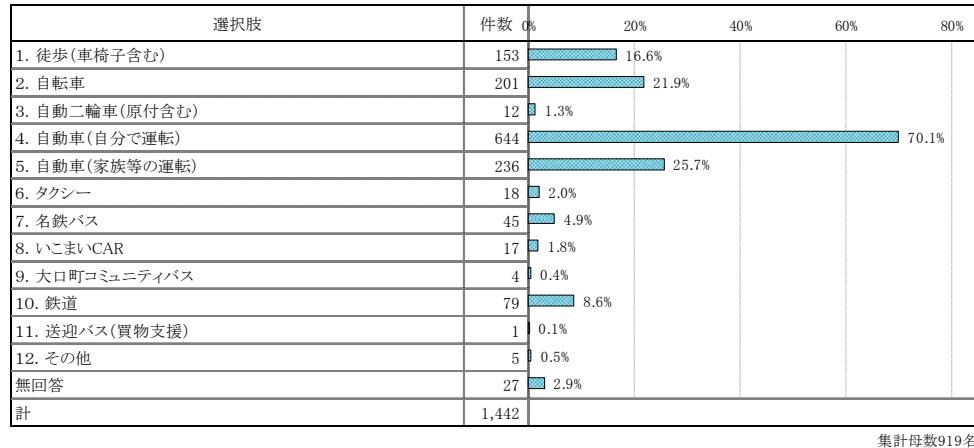
アピタ江南西店、カネスエ（江南西店、江南高屋店）、平和堂江南店、イオン扶桑店、MEGAドン・キホーテUNY江南店



- ・出発の時間は「9～12時」が最も大きく、時間が経つにつれ徐々に減っていく傾向となっている。
- ・帰宅の時間は「9～12時」「12～15時」「15～18時」がおおよそ並んでいる。
- ・外出先は「アピタ江南西店」が最も多い。

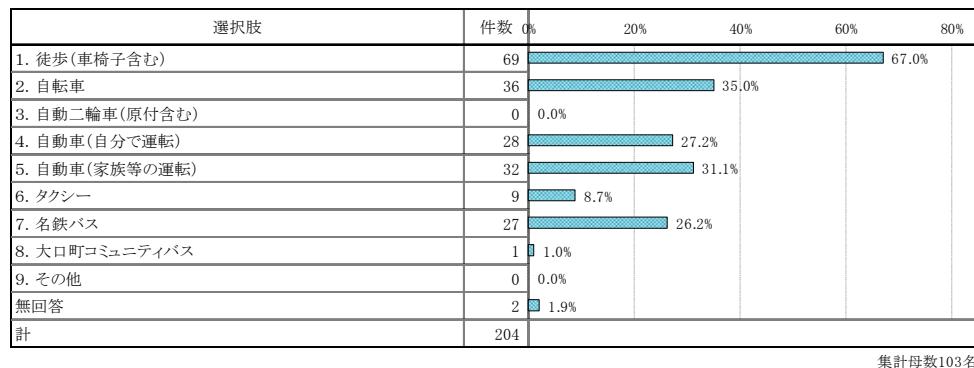
外出の頻度や目的（買い物・娯楽）

問：目的地までの「移動手段」を教えてください（複数回答）



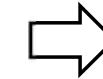
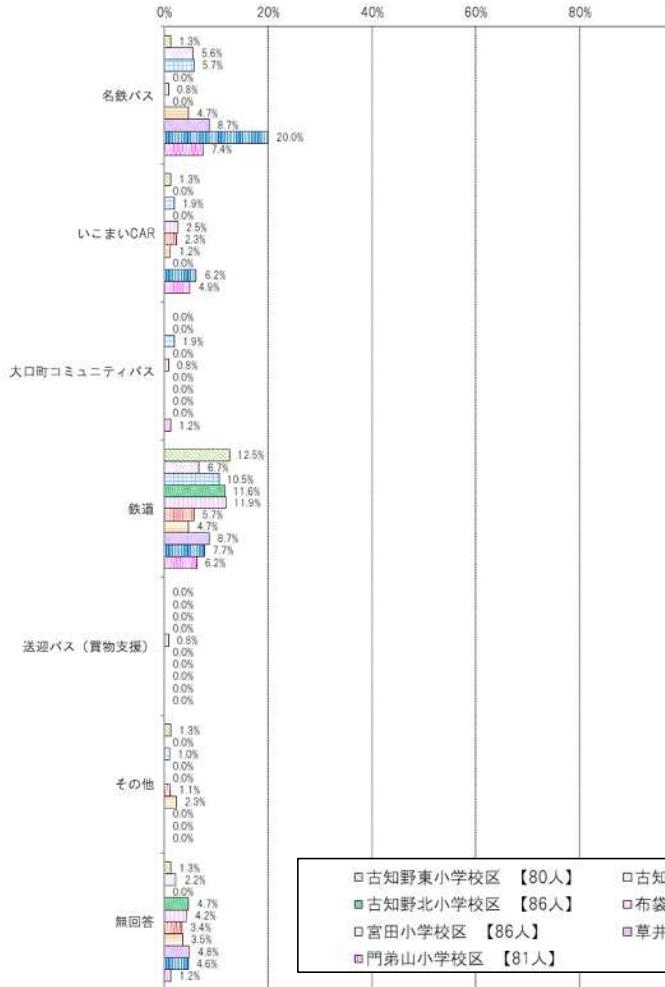
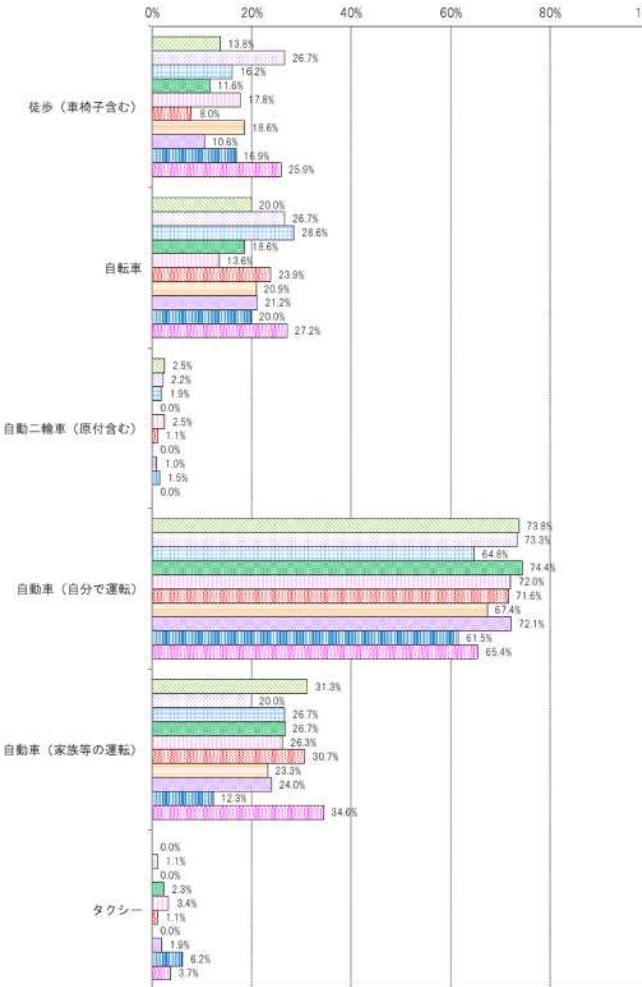
- ・「自動車（自分で運転）」が最も大きな割合を占める。
- ・「名鉄バス」を利用し、鉄道、バスに乗り継いでいる人は26.2%である。
- ・出発の時間は午前のほうが多い。帰宅時間は午前・午後ともに広く分布しており、買い物の所要時間や行動パターンの多様性が考えられる。
- ・買い物・娯楽に関しても自動車での移動が中心であることが分かる。特に買い物では、購入品の運搬や店舗の移動など利便性の高さが自動車利用を促進している可能性がある。

問：鉄道、バスを利用する場合、駅またはバス停までの「移動手段」を教えてください（複数回答）



外出の頻度や目的（買い物・娯楽）

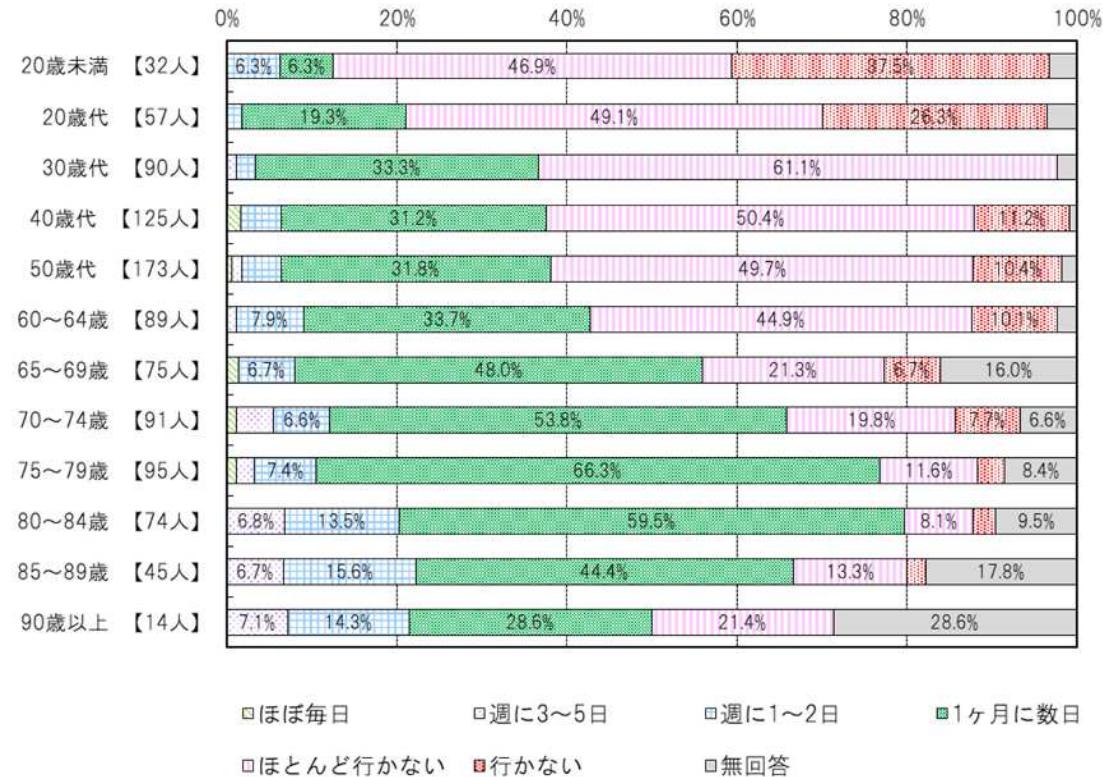
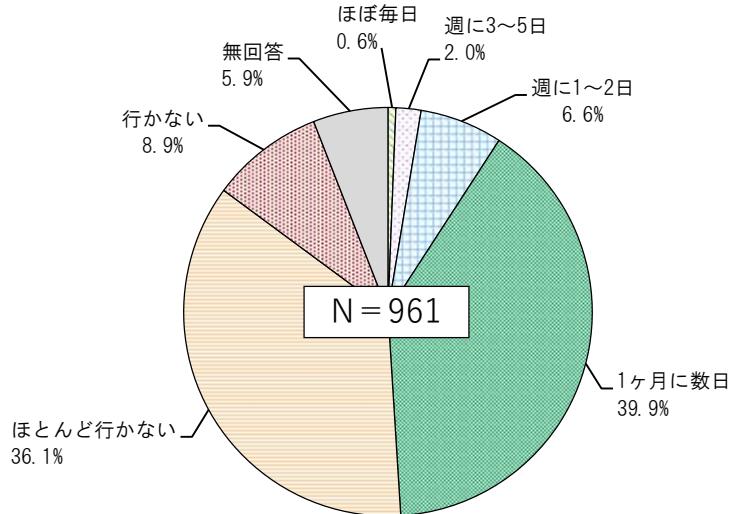
問：目的地までの「移動手段」を教えてください（地域別）（複数回答）



- 名鉄バスを利用するるのは藤里小学校が最も多い。
- 藤里小学校区は身近にバス停がある住民も多く、他地域と比較し名鉄バスを利用しやすい環境にあると考えられる。

外出の頻度や目的（病院・福祉施設）

問：外出する「頻度」を教えてください



- ➡ ・病院・福祉施設に外出する人は約50%で「1ヶ月に数日」が最も多い。
・年齢層が上がるほど外出頻度が上昇するが、85歳以上ではやや減少する傾向がみられる。

外出の頻度や目的（病院・福祉施設）

問：外出の「時間帯」を教えてください（複数回答）

出発の時間帯

選択肢	件数	0%	20%	40%	60%	80%
1. 0～6時	1	0.1%				
2. 6～9時	141	17.2%				
3. 9～12時	467		57.1%			
4. 12～15時	78	9.5%				
5. 15～18時	159	19.4%				
6. 18～21時	68	8.3%				
7. 21～24時	1	0.1%				
無回答	118	14.4%				
計	1,033					

集計母数818名

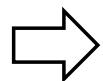
帰宅の時間帯

選択肢	件数	0%	20%	40%	60%	80%
1. 0～6時	0	0.0%				
2. 6～9時	11	1.3%				
3. 9～12時	393		48.0%			
4. 12～15時	197	24.1%				
5. 15～18時	163	19.9%				
6. 18～21時	127	15.5%				
7. 21～24時	2	0.2%				
無回答	150	18.3%				
計	1,043					

集計母数818名

問：「主な外出先」を教えてください。

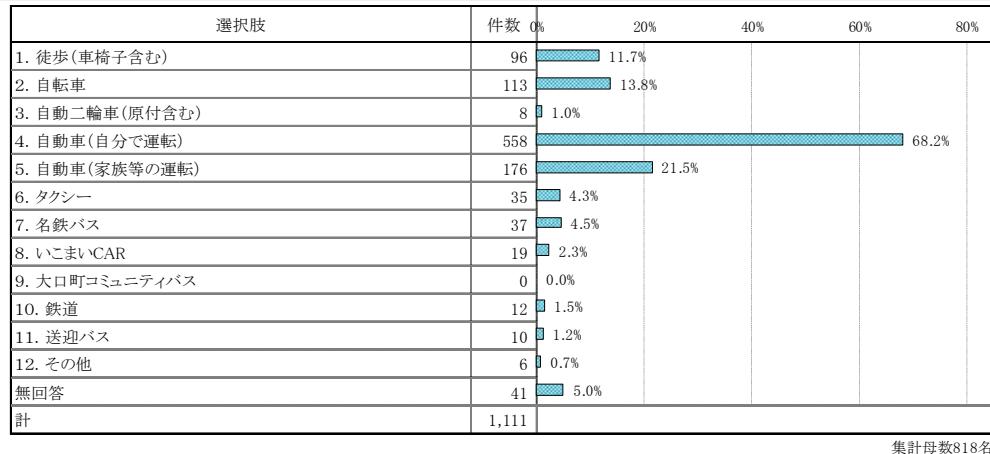
江南厚生病院、すばるクリニック、youクリニック、説田クリニック、上田整形外科



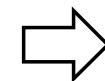
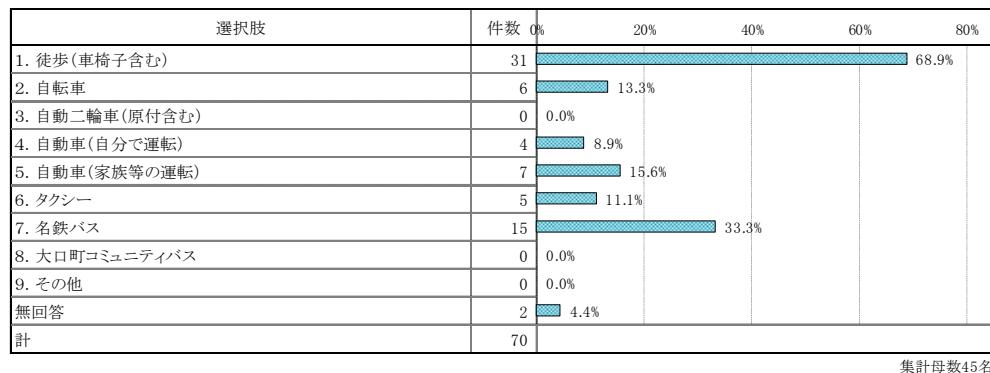
- ・出発、帰宅ともに「9～12時」が最も多い。
- ・外出先は「江南厚生病院」が最も多い。

外出の頻度や目的（病院・福祉施設）

問：目的地までの「移動手段」を教えてください（複数回答）



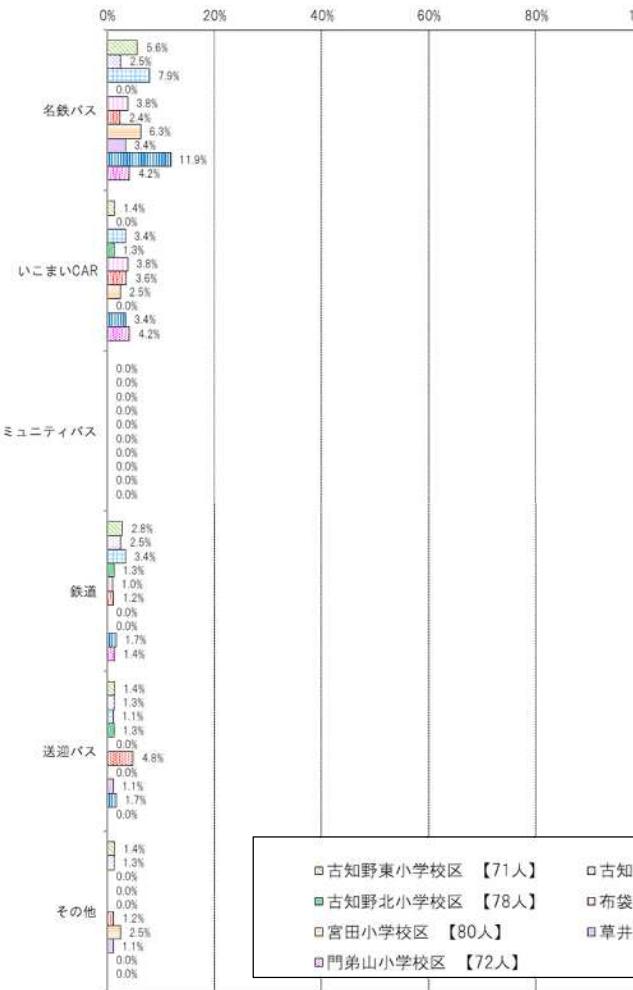
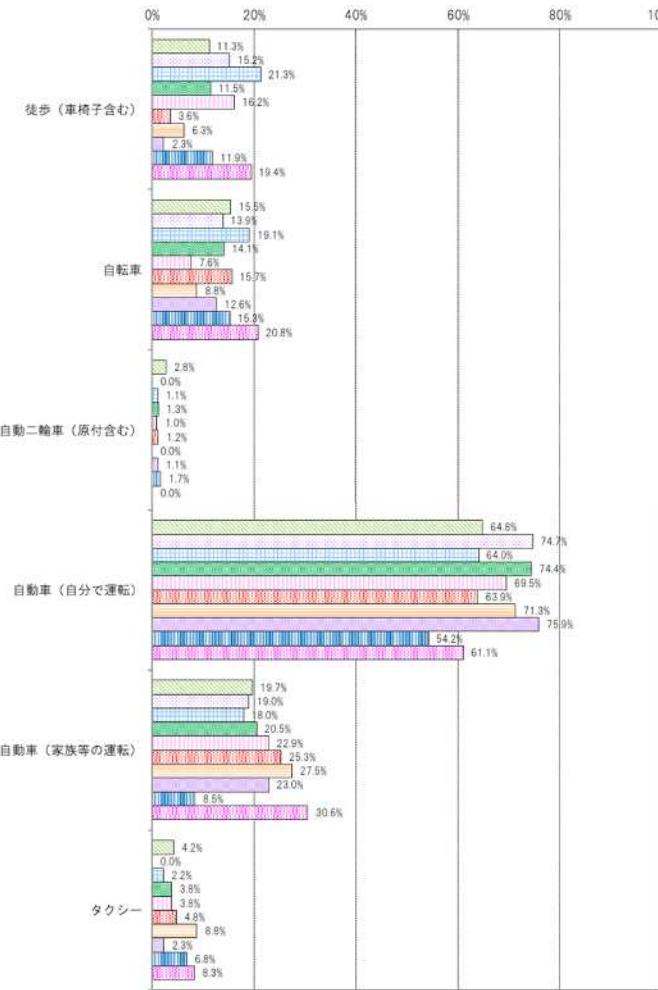
問：鉄道、バスを利用する場合、駅またはバス停までの「移動手段」を教えてください



- ・「自動車（自分で運転）」が最大の割合を占める。
- ・「名鉄バス」を利用し、鉄道、バスに乗り継いでいる人は33.3%であり、藤里小学校区の割合が高い。
- ・公共交通の利用が少なく、通院者の歩行圏が広くない可能性が考えられる。
- ・出発時間は午前中に集中しており、帰宅時間も9時から12時の間に最も多いため、通院における公共交通の需要は午前中に集中しているといえる。

外出の頻度や目的（病院・福祉施設）

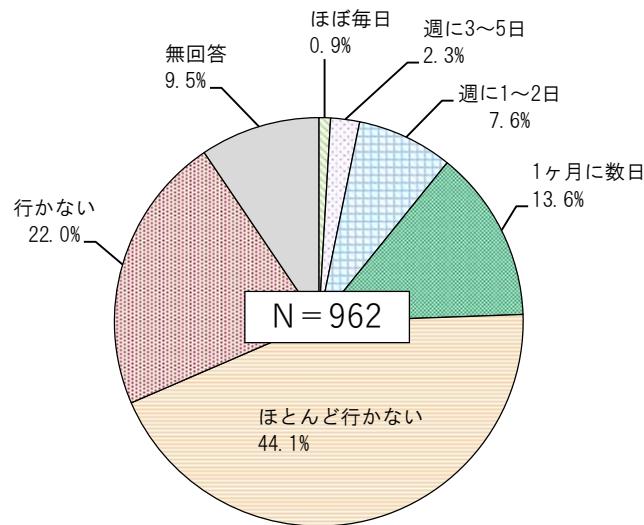
問：目的地までの「移動手段」を教えてください（地域別）（複数回答）



- - ・名鉄バスを利用するものは藤里小学校が最も多い。
 - ・布袋北小学校区、草井小学校区は徒歩の割合が比較的少ない。
 - ・藤里小学校区は身近にバス停がある住民も多く、他地域と比較し名鉄バスを利用しやすい環境にあると考えられる。
 - ・布袋北小学校区、草井小学校区は徒歩圏に病院・福祉施設が少ない可能性が考えられる。

外出の頻度や目的（公共施設）

問：外出する「頻度」を教えてください



問：外出の「時間帯」を教えてください（複数回答）

出発の時間帯

選択肢	件数	0%	20%	40%	60%	80%
1. 0~6時	1	0.2%				
2. 6~9時	55	8.3%				
3. 9~12時	324			49.2%		
4. 12~15時	163		24.7%			
5. 15~18時	101		15.3%			
6. 18~21時	27	4.1%				
7. 21~24時	2	0.3%				
無回答	181		27.5%			
計	854					

集計母数659名

帰宅の時間帯

選択肢	件数	0%	20%	40%	60%	80%
1. 0~6時	0	0.0%				
2. 6~9時	12	1.8%				
3. 9~12時	238			36.1%		
4. 12~15時	191			29.0%		
5. 15~18時	149			22.6%		
6. 18~21時	57	8.6%				
7. 21~24時	7	1.1%				
無回答	205			31.1%		
計	859					

集計母数659名

問：「主な外出先」を教えてください。

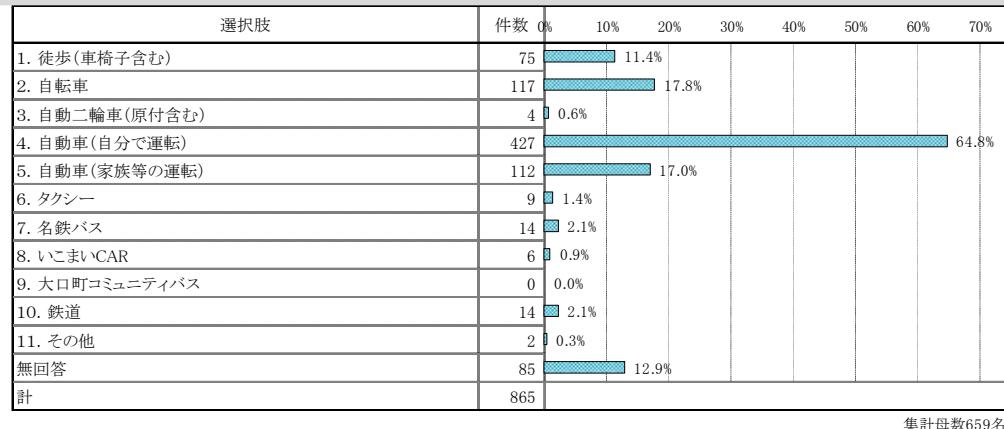
江南市役所、江南市立図書館、KTXアリーナ、toko+toko=labo、Home&nicoホール



- ・公共施設に外出する人は約25%で、「ほとんど行かない」「行かない」が最も多い。
- ・出発、帰宅ともに「9~12時」が最も集中している。次いで「12~15時」の割合が多い。
- ・外出先は「江南市役所」が最も多い。

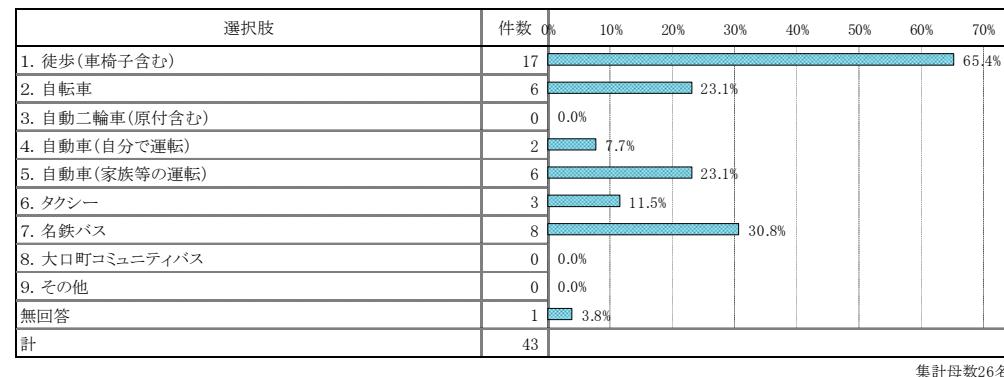
外出の頻度や目的（公共施設）

問：目的地までの「移動手段」を教えてください（複数回答）



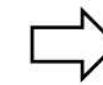
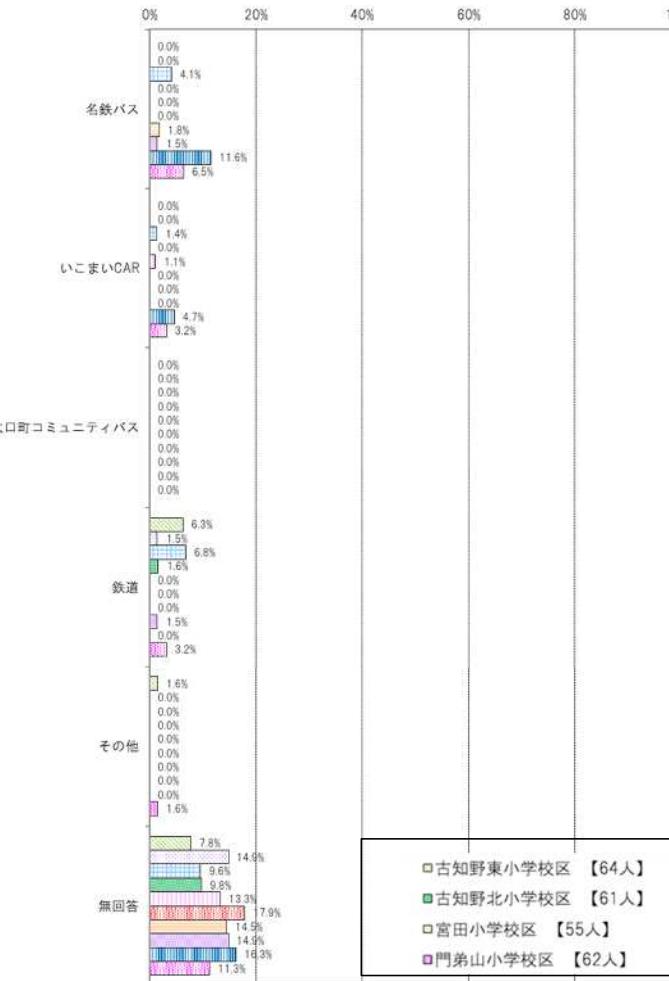
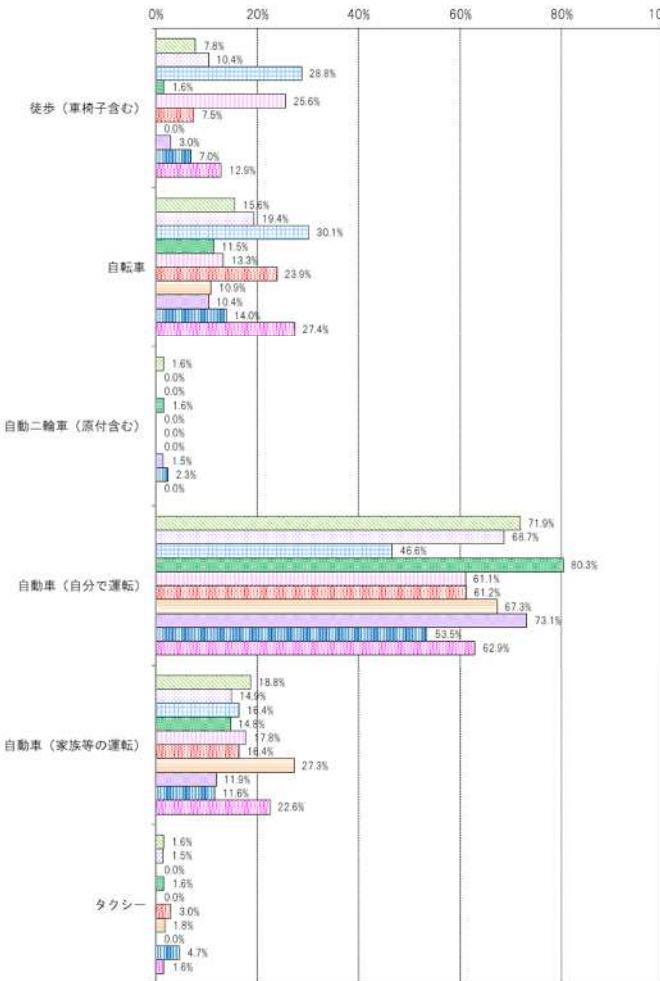
- ・「自動車（自分で運転）」が最も大きな割合を占める。
- ・「名鉄バス」を利用し、鉄道、バスに乗り継いでいる人は30.8%である。

問：鉄道、バスを利用する場合、駅またはバス停までの「移動手段」を教えてください（複数回答）



外出の頻度や目的（公共施設）

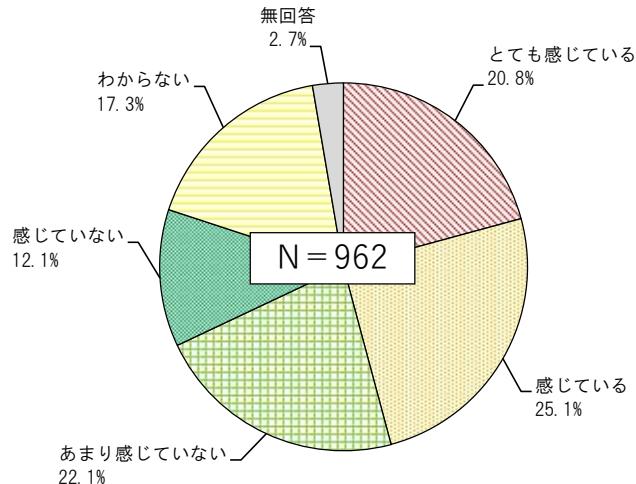
問：目的地までの「移動手段」を教えてください（地域別）（複数回答）



- ・名鉄バスを利用するるのは藤里小学校が最も多い。
- ・古知野北小学校区、宮田小学校区は徒歩の割合が比較的少ない。
- ・藤里小学校区は身近にバス停がある住民も多く、他地域と比較し名鉄バスを利用しやすい環境にあると考えられる。
- ・古知野北小学校区、宮田小学校区は徒歩圏に目的地となる公共施設が少ない可能性が考えられる。

公共交通での移動に不便を感じているか

問：公共交通(鉄道・バス・タクシー等)
での日常の移動に不便を感じていますか



問：不便を感じる理由をお聞きします（複数回答）

選択肢	件数	0%	20%	40%	60%	80%	100%
1. 自宅から鉄道駅やバス停が遠い	258				58.5%		
2. 利用できるバス停があっても運行本数が少ない・行先が目的に合わない	271				61.5%		
3. 通常のタクシーがあるが、利用しづらい	67		15.2%				
4. 「いこまいCAR」があるが、利用しづらい	100		22.7%				
5. その他	39		8.8%				
無回答	1	0.2%					
計	736						

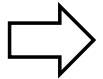
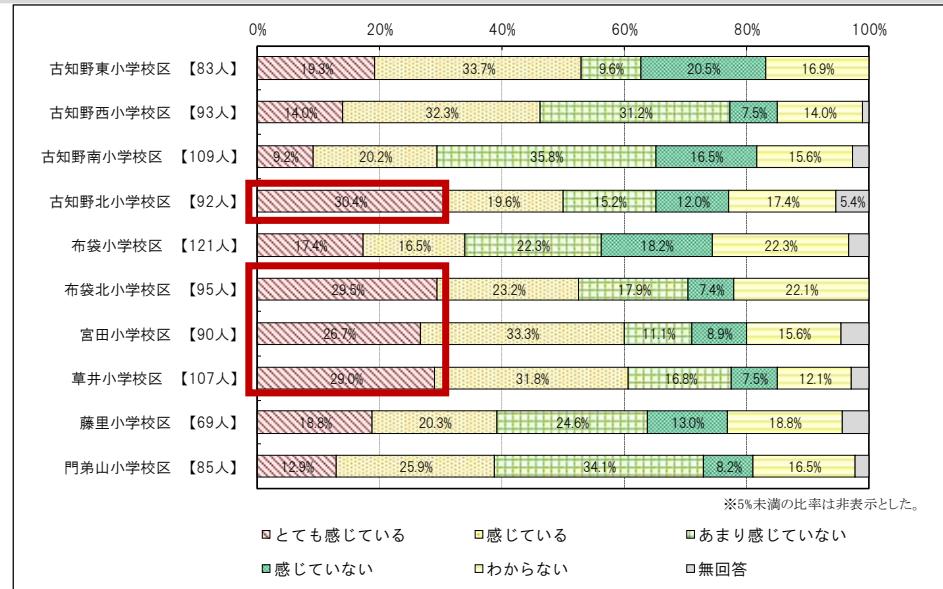
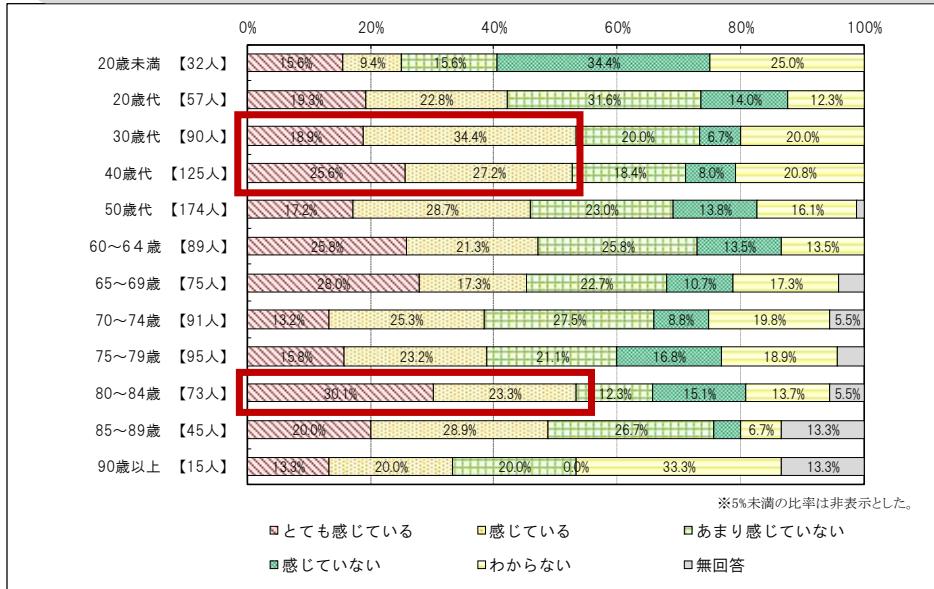
集計母数441名



- 「とても感じている」「感じている」という回答が合わせて半数程度。
- 不安を感じる理由は、「利用できるバス停があっても運行本数が少ない・行先が目的に合わない」「自宅から鉄道駅やバス停が遠い」の2項目に回答が集中
- 現状の公共交通について、市民の目線ではアクセス性や運行本数、運行ルートにに対して不満を感じることが多い。

公共交通での移動に不便を感じているか

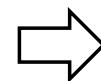
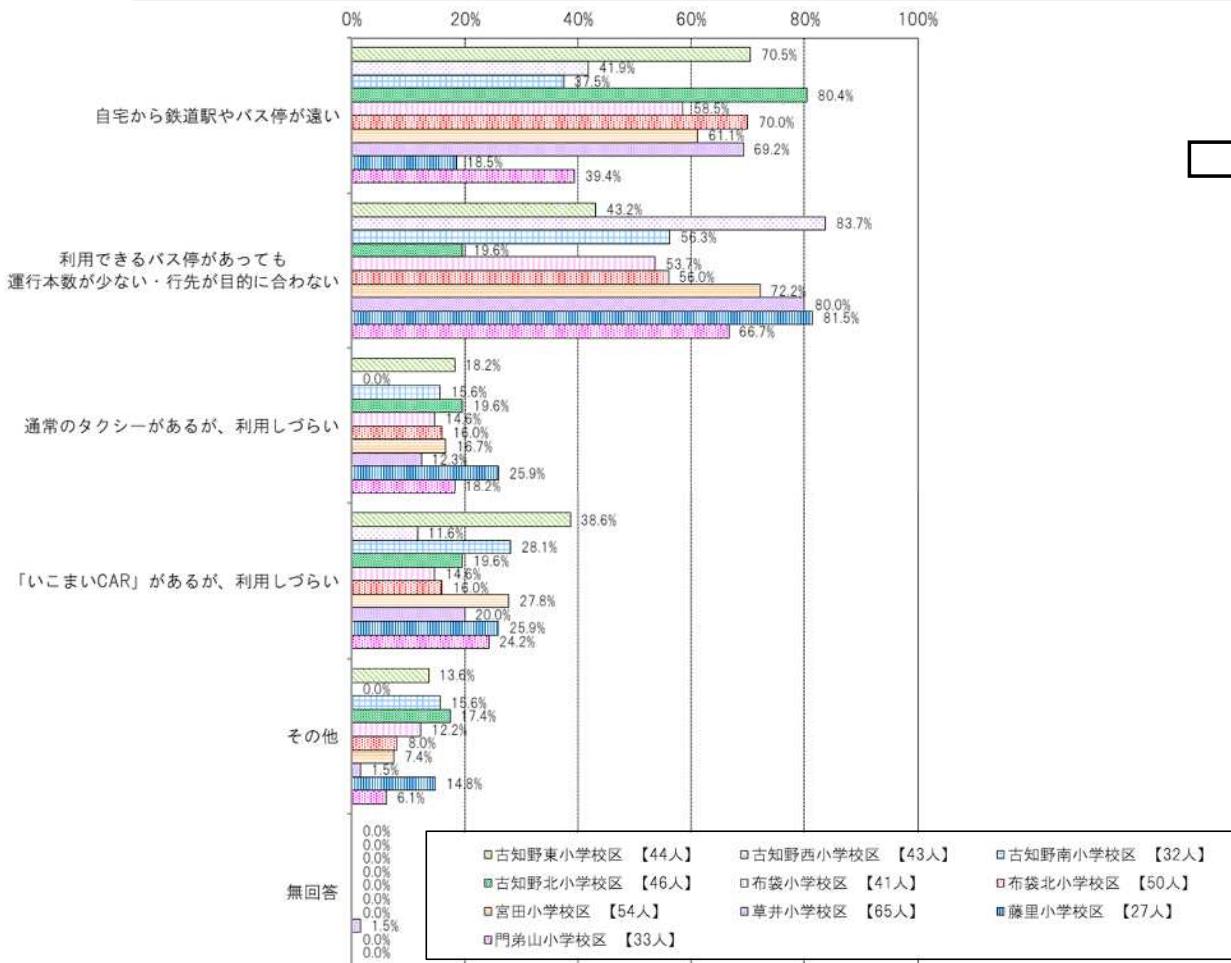
問：公共交通(鉄道・バス・タクシー等)での日常の移動に不便を感じていますか（複数回答）



- 「とても感じている」「感じている」という回答は、30歳代、40歳代、80～84歳で多くなっている。
- 古知野北小学校区、布袋北小学校区、宮田小学校区、草井小学校区は「とても感じている」の回答が多い。
- 古知野北小学校区、布袋北小学校区、宮田小学校区、草井小学校区はバス路線が少ないので公共交通の不便を感じやすい地域と判断できる。

公共交通での移動に不便を感じているか

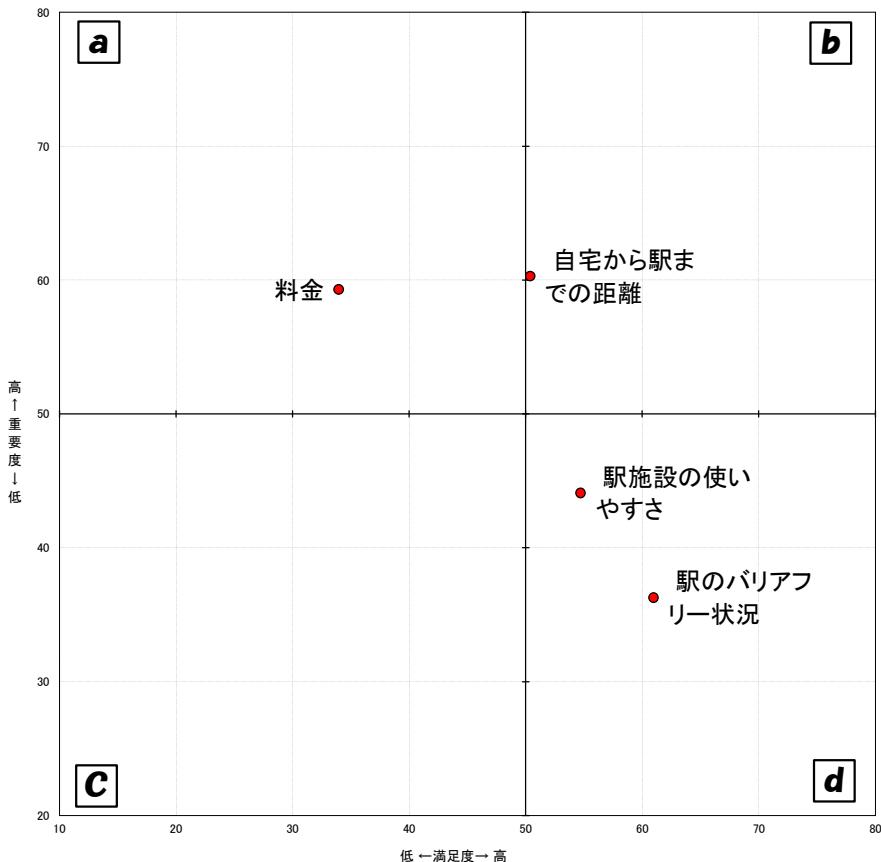
問：不便を感じる理由をお聞きします（地域別）（複数回答）



- 古知野北小学校区は「自宅から鉄道駅やバス停が遠い」の回答が多く、「利用できるバス停があっても運行本数が少ない・行先が目的に合わない」という回答が少ない。
- 布袋北小学校区、宮田小学校区、草井小学校区は「自宅から鉄道駅やバス停が遠い」「利用できるバス停があっても運行本数が少ない・行先が目的に合わない」とともに多い。
- 古知野北小学校区、布袋北小学校区、宮田小学校区、草井小学校区は周辺にバス停が少なく、頻度や行き先が十分でないと考えられる。

鉄道について

問：鉄道に関しての重要度・満足度を5段階で評価してください



- 重要度が高いものの満足度が低い項目は「料金」
- 重要度が高く、満足度が中程度の項目は「自宅から駅までの距離」
- 重要度は低いものの、満足度が高い項目は「駅のバリアフリー状況」「駅施設の使いやすさ」

【重要性】

- 「駅のバリアフリー状況」の重要性について、60歳以上で比較的多め

【満足度】

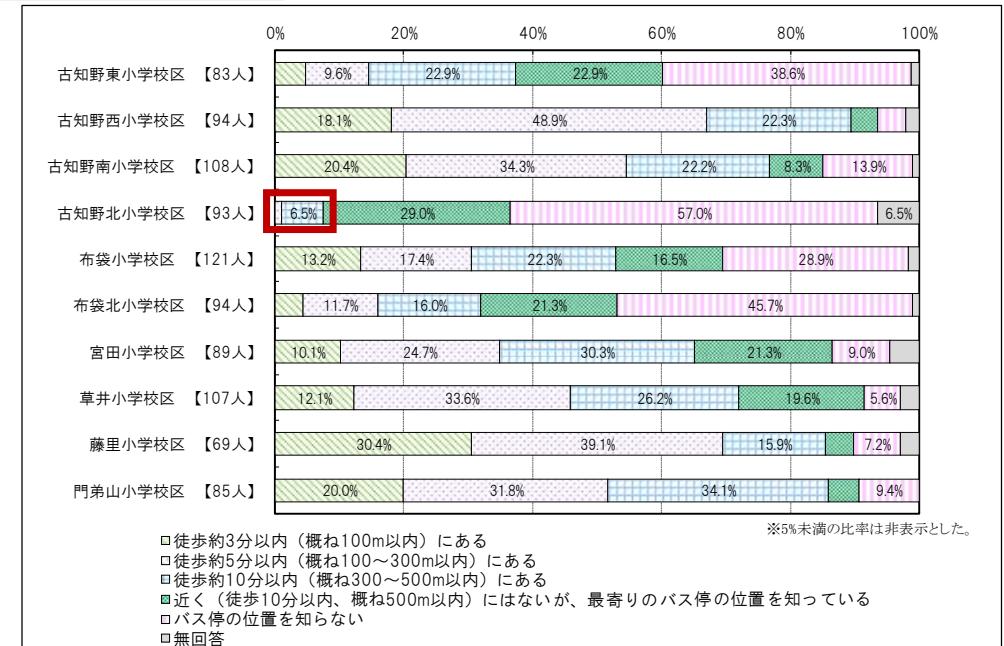
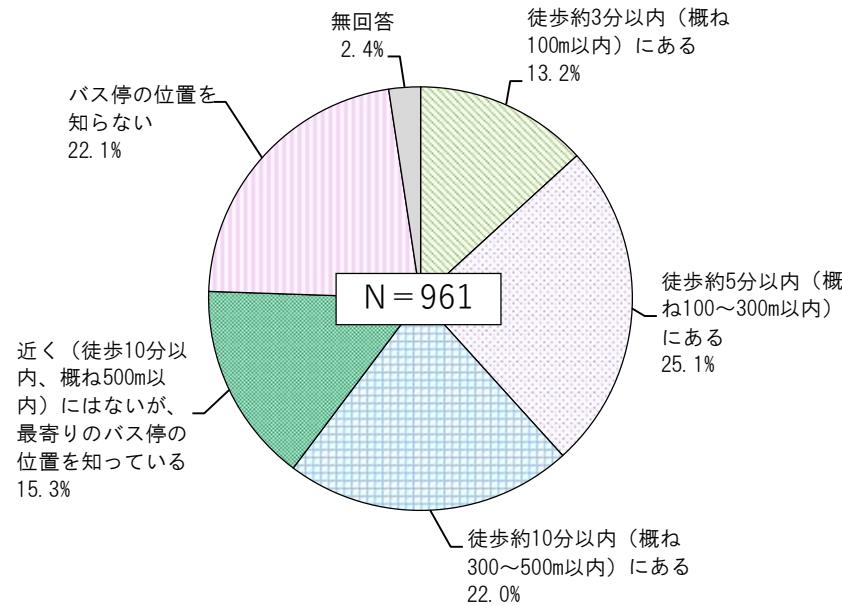
- 「自宅から駅までの距離」の満足度について、草井小学校区と宮田小学校区は低く、古知野南小学校区と布袋小学校区は高い。
- 「駅のバリアフリー状況」「駅施設の使いやすさ」の満足度について、布袋小学校区が特に高い。

- 布袋駅舎が新しいことや周辺の整備事業が満足度に大きく影響している。

N = 814

名鉄バス・大口町コミュニティバスについて

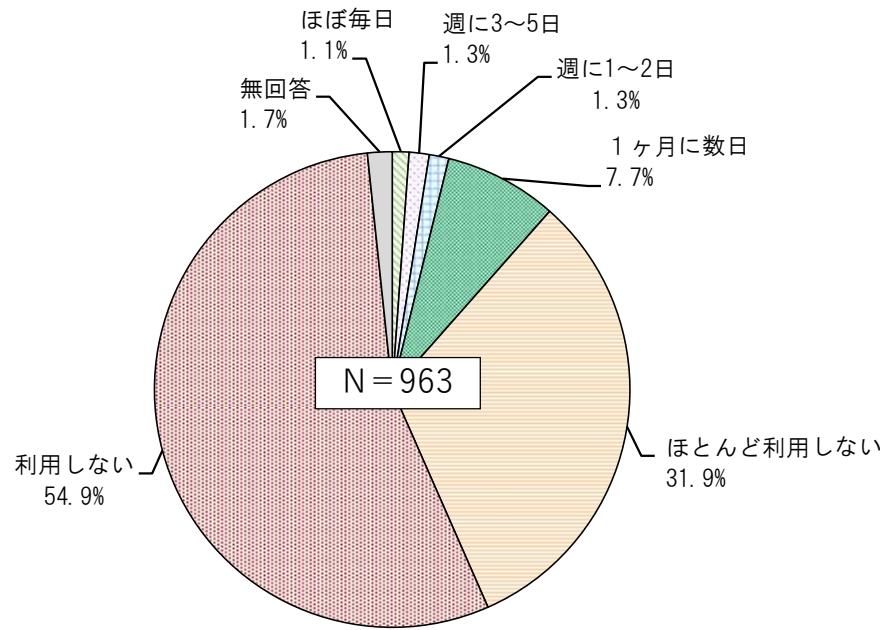
問：自宅に最寄りのバス停の位置について教えてください



- ➡ 特に古知野北小学校区は歩約10分以内にあるという回答が6.5%と低く、過半数がバス停の位置を知らないと回答しており、バス路線が近くにない地域であることが分かる。
- ・古野北小学校区は公共交通に不便を感じている人が多く、バス路線が近くにない事が影響していると考えられる。

名鉄バス・大口町コミュニティバスについて

問：バスの利用頻度を教えてください。



問：「ほとんど利用しない」「利用しない」と回答した場合、利用しない理由を教えてください。

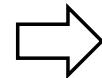
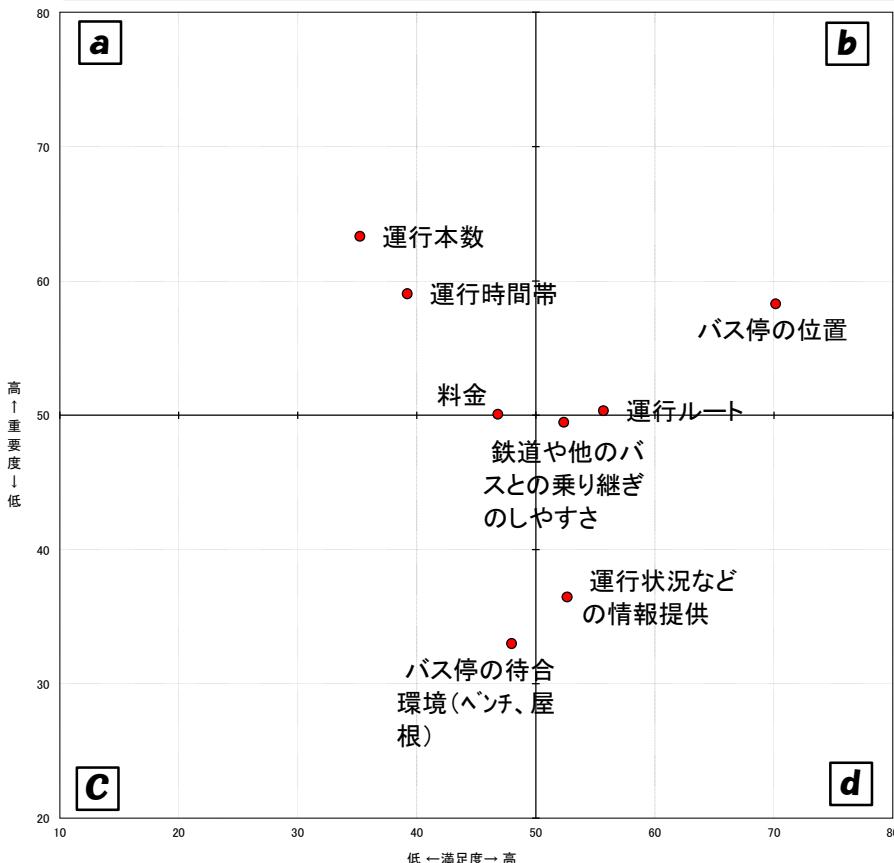
選択肢	件数	0%	20%	40%	60%	80%	100%
1. 他の移動手段で移動している	654						78.2%
2. 自宅からバス停が遠い	230						27.5%
3. 目的地からバス停が遠い	81						9.7%
4. ちょうどよい時間の便がない	147						17.6%
5. 時刻表やルートがよくわからない	143						17.1%
6. 時間がかかる	110						13.2%
7. 外出をあまりしない	65						7.8%
8. その他	62						7.4%
無回答	18						2.2%
計	1,510						

集計母数836名

-
- 「利用しない」「ほとんど利用しない」が8割程度を占める。
 - 3割弱が「自宅からバス停が遠い」という理由でバスを利用していない。
 - 8割弱の人々が自由に使用できる自家用車を保有していることがバスの利用頻度に影響している。

名鉄バス・大口町コミュニティバスについて

問：バスに関しての重要度・満足度を5段階で評価してください



- 重要度が高く、満足度も高い項目は「バス停の位置」
- 重要度は高いものの、満足度が低い項目は「運行本数」「運行時間帯」
- 重要度はどちらともいえない項目は「料金」「鉄道や他のバスとの乗り継ぎのしやすさ」「運行ルート」
- 重要度が低い項目は「運行状況などの情報提供」「バス停の待合環境（ベンチ、屋根）」

【重要性】

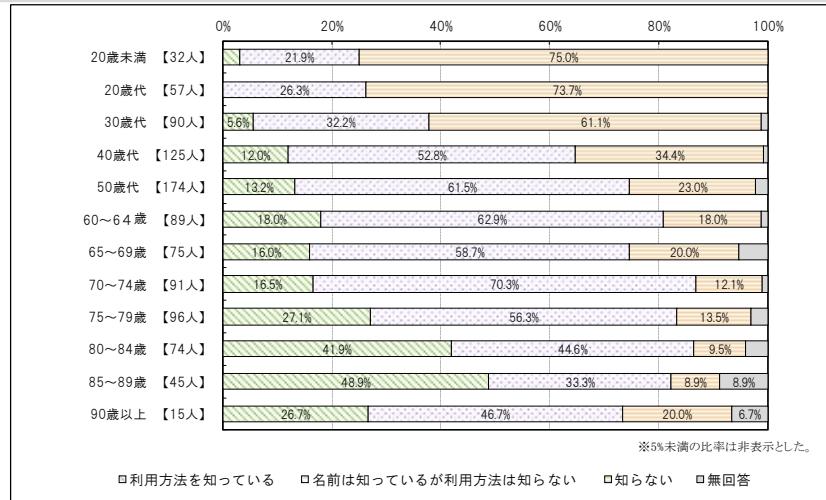
- 藤里小学校区は「バス停の位置」や「運行ルート」の重要性が比較的低い。

【満足度】

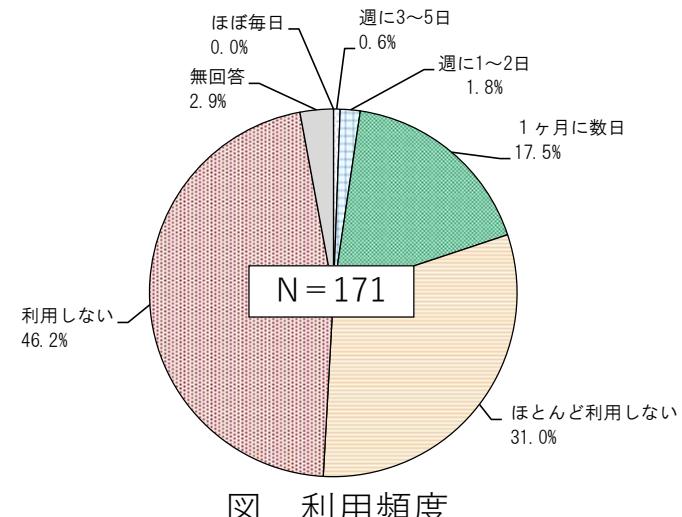
- 「運行ルート」について80～84歳、85～89歳の満足度が比較的低く、「運行本数」については30歳代の満足度が低い。
- 藤里小学校区がすべての項目で比較的満足度が高い
- 古知野北小学校区では「バス停の位置」「運行ルート」を筆頭に全体的に満足度が低く、草井小学校区と布袋北小学校区では「運行本数」「運行時間帯」の満足度が比較的低い
- 名鉄バス・大口町コミュニティバスは市民目線で運行本数と運行時間帯が重要だと思われている。しかし、満足度が比較的低く、重要な課題となる。

いこまいCARについて

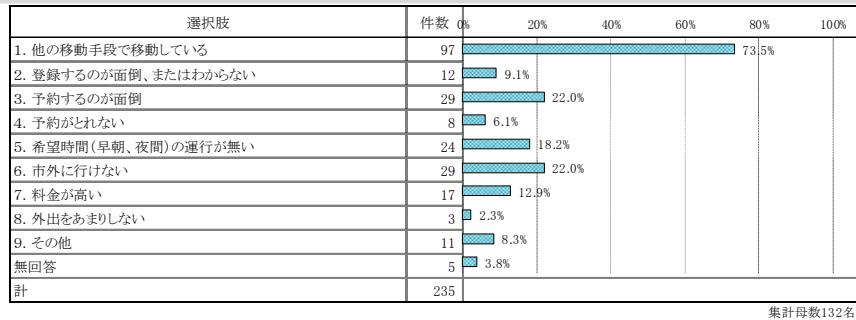
問：いこまいCARについてどの程度知っていますか



問：いこまいCARの利用頻度を教えてください



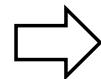
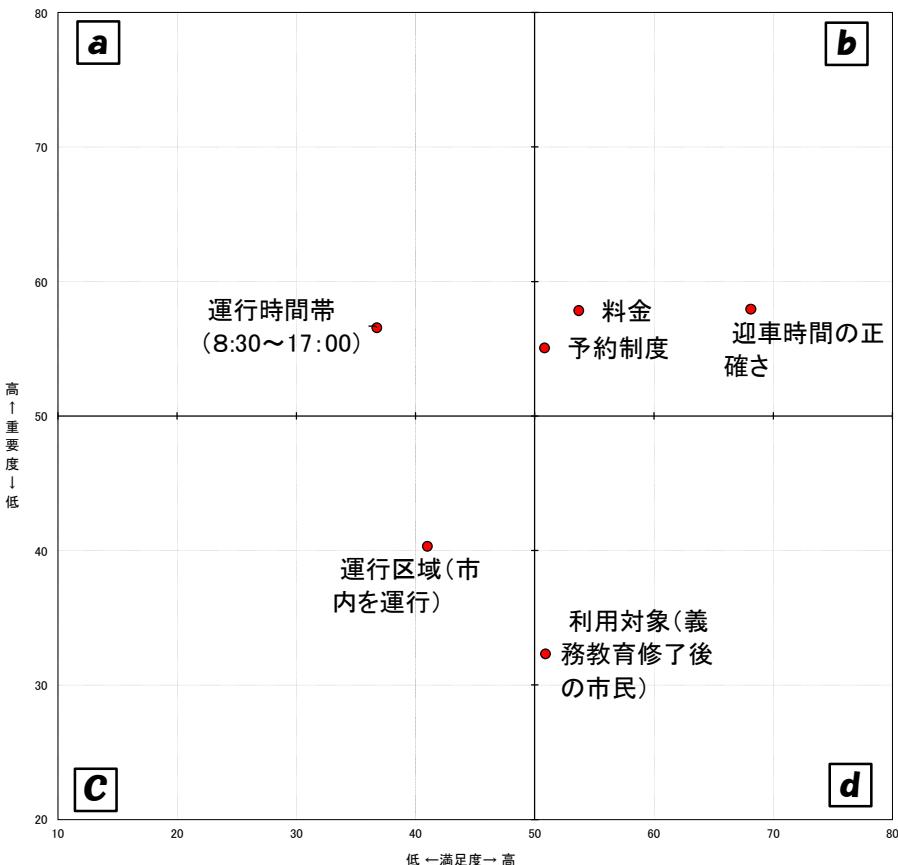
問：「ほとんど利用しない」「利用しない」と回答した場合、利用しない理由を教えてください（複数回答）



- ・いこまいCARを利用する人は約20%
- ・「名前は知っているが利用方法は知らない」が半数以上
- ・年齢層があがるにつれ認知度が向上
- ・「利用しない」「ほとんど利用しない」が80%弱を占める。
- ・「予約するのが面倒」「市外に行けない」「希望時間の運行がない」などが利用しない理由としてみられた。
- ・年齢層が高くなるにつれて認知度が向上しているため、年齢層が高い人に魅力を持ってもらいやすい公共交通だと考えられる。

いこまいCARについて

問：いこまいCARに関する重要度・満足度を5段階で評価してください



- 重要度が高いものの、満足度が低い項目は「運行時間帯」
- 重要度が高く、満足度が高い項目は「料金」「迎車時間の正確さ」
- 満足度が中程度のうち、重要度が高い項目は「予約制度」、低い項目は「利用対象（義務教育修了後の市民）」
- 重要度が低く、満足度も低い項目は「運行区域」

【重要性】

- 20歳未満と90歳以上が「利用対象」の重要性を低く回答した。

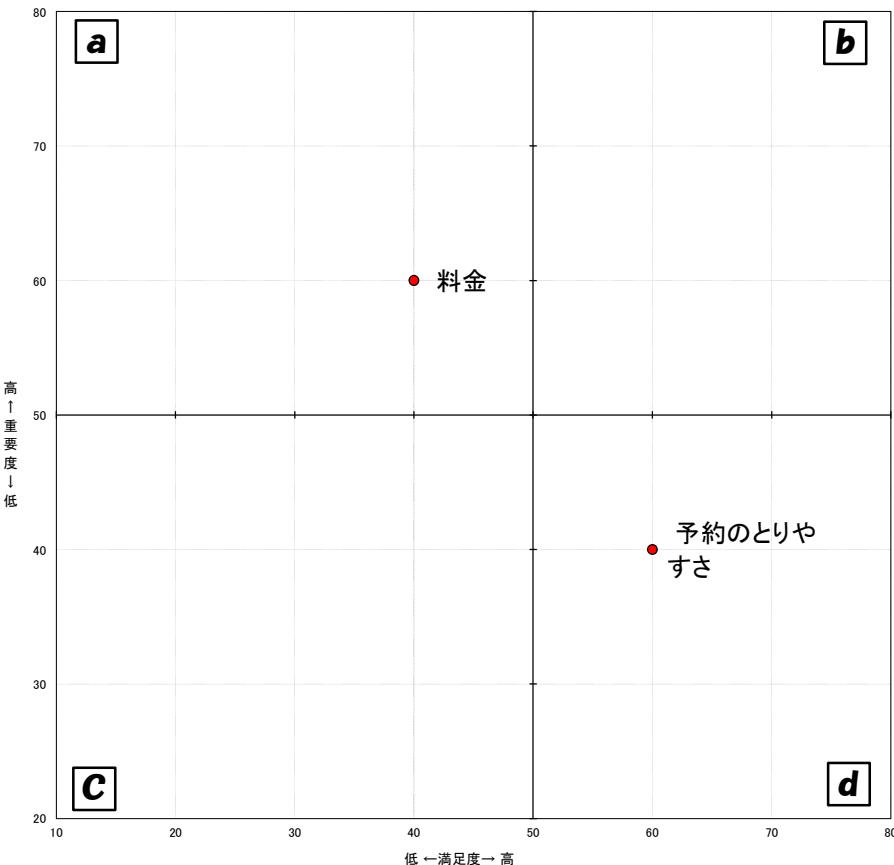
※満足度は利用者を対象とし、各属性の母数が小さくなるため、クロス分析を実施していない。

- いこまいCARは市民目線で運行時間帯が重要な課題と思われている。しかし、満足度が比較的低く、重要な課題となりうる。

N=87

タクシーについて

問：タクシーに関する重要度・満足度を5段階で評価してください



-
- 重要度が高いものの満足度が低い項目は「料金」
 - 重要度が低いものの満足度が高い項目は「予約のとりやすさ」

【重要性】

・重要度について、「予約のとりやすさ」よりも「料金」の方が重要であるとする年代の方が多いが、85～89歳、90歳以上ではこの傾向が逆転する。

【満足度】

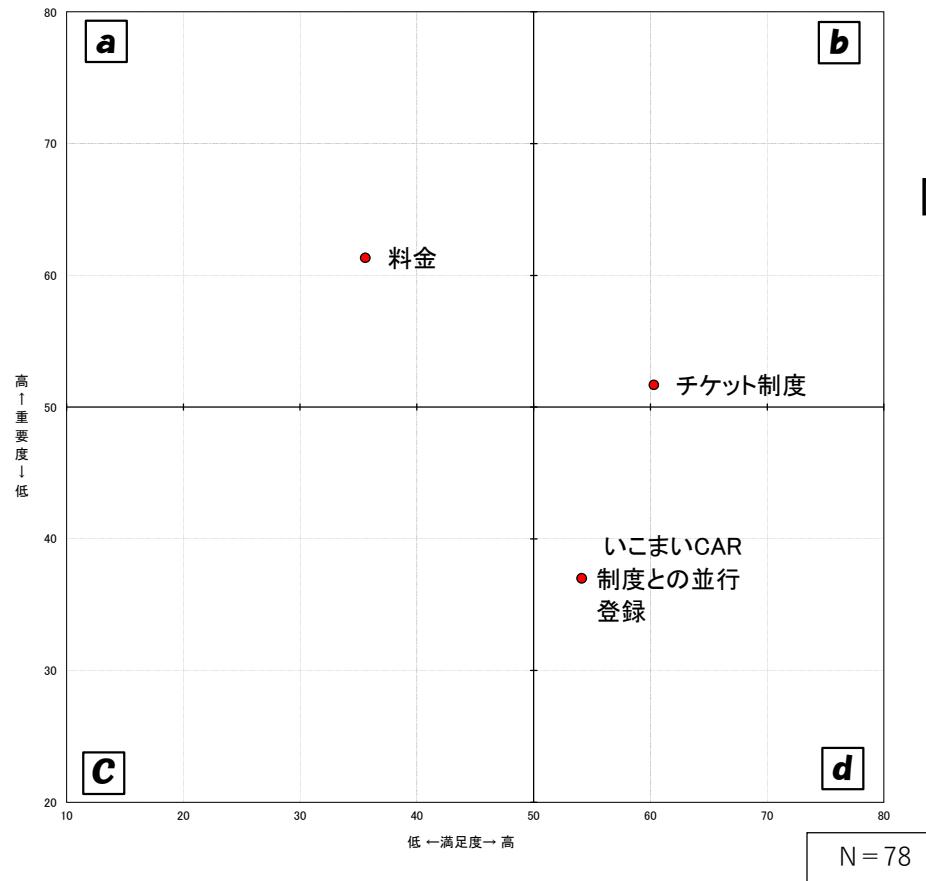
・「料金」の満足度は比較的低い傾向にあるが、20歳未満、20歳代の若年層が比較的低い傾向にある。

・タクシーは市民目線で料金が重要だと思われている。しかし、満足度が比較的低く、重要な課題となりうる。若年層ほどその傾向が強い。

N = 425

福祉タクシー料金助成について

問：福祉タクシー料金助成に関する重要度・満足度を5段階で評価してください

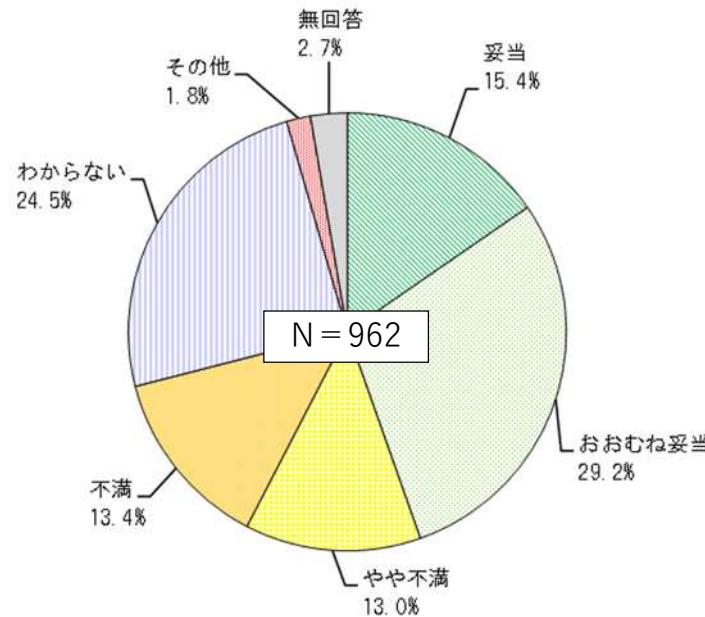


- 重要度が高いものの満足度が低い項目は「料金」
- 重要度は中程度で、満足度が高い項目は「チケット制度」
- 重要度が低く、満足度が高い項目は「いこまいCAR制度との並行登録」

・福祉タクシー料金助成は市民目線で料金が重要なと思われている。しかし、満足度が比較的低く、重要な課題となりうる。

路線バスの維持

問：路線バスの赤字路線（利用者が少ない路線）を維持するため、年間約5,000万円（市民1人あたり約507円）の税金を投入することは、妥当だと考えますか

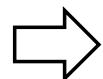
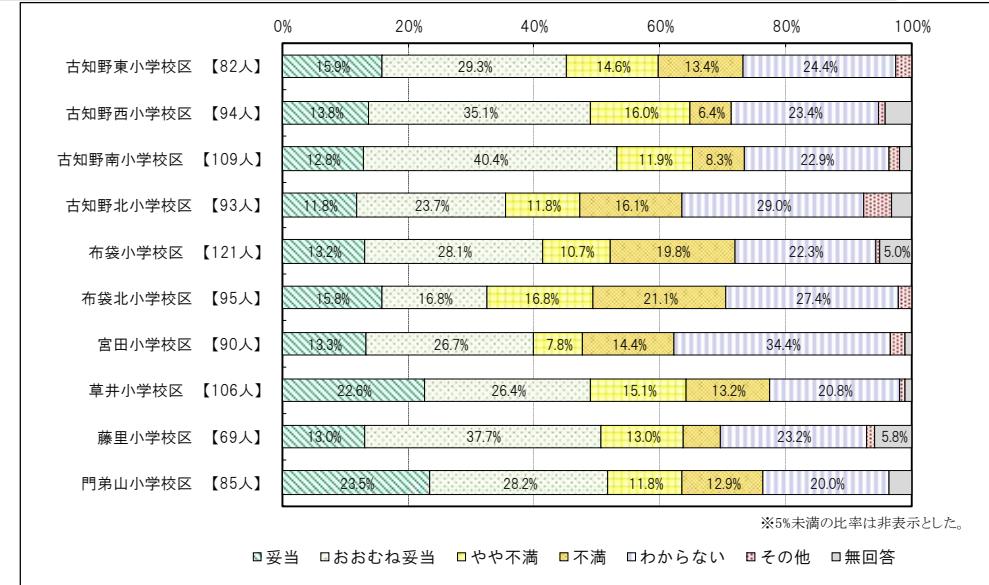
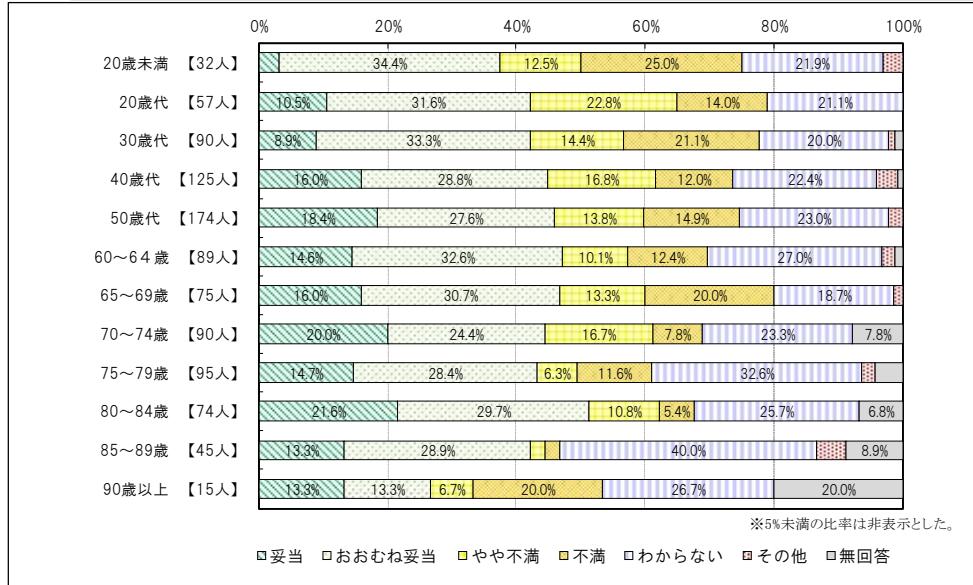


- 全体の約45%が「妥当」「おおむね妥当」

- ・「妥当」「おおむね妥当」と回答した人が「不満」「やや不満」と答えた人に比べ多く、やや妥当が多い傾向にある。

路線バスの維持

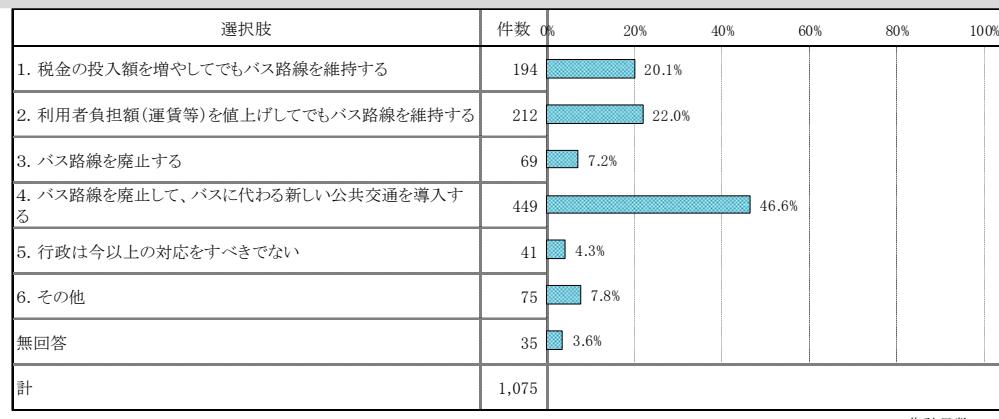
問：路線バスの赤字路線（利用者が少ない路線）を維持するため、年間約5,000万円（市民1人あたり約507円）の税金を投入することは、妥当だと考えますか



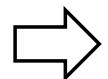
- ・20歳未満と90歳以上が「妥当」「おおむね妥当」の回答割合が低い
- ・古知野北小学校区、布袋北小学校区が「妥当」「おおむね妥当」の回答割合が比較的低い
- ・全体的には「妥当」と考える人が多い一方で、布袋北小学校区では「不満」と答えた人の割合がやや高く、不便な地域では不満が多くなる傾向と考えられる。

路線バスの維持

問：利用者数の減少で現状のバス路線の維持が困難になってきた場合、どのような対策が良いと考えますか（複数回答）



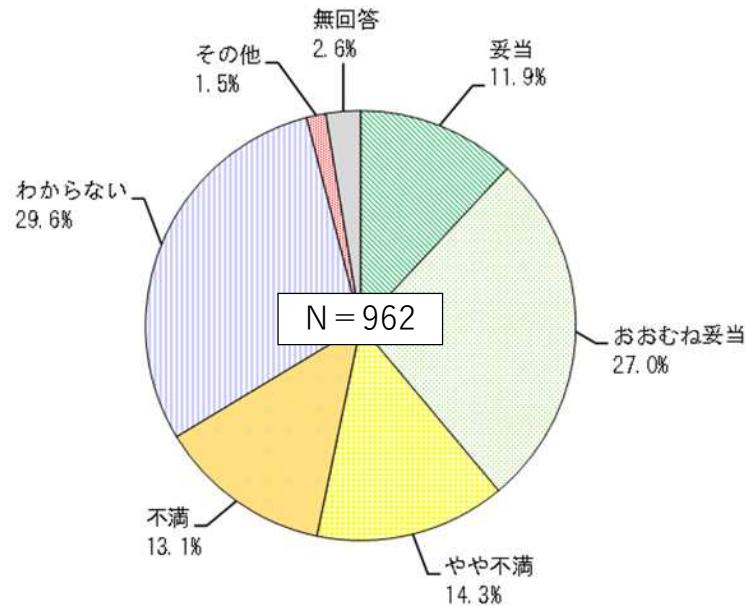
集計母数964名



- 「バス路線を廃止して、バスに代わる新しい公共交通を導入する」が一番多く、30歳代、50歳代、60～64歳の回答者が特に多かった。
- 「税金の投入額を増やしてもバス路線を維持する」について、古知野北小学校区、布袋小学校区、布袋北小学校区の回答割合が低い。
- 「バス路線を廃止して、バスに代わる新しい公共交通を導入する」について、古知野西小学校区、古知野南小学校区、藤里小学校区の回答割合が低い。
- 古知野北小学校区、布袋小学校区、布袋北小学校区のようなバスの利便性が高くない地域はバス路線の維持の重要度が低いと考えられる。
- 古知野西小学校区、古知野南小学校区、藤里小学校区のようなバスの利便性が高い地域はバス路線の廃止は避けたい意向にあるものと考えられる

いこまいCARの運行

問：いこまいCARの運行をするため、年間約4,700万円（市民1人あたり約483円）の税金を投入することは、妥当だと考えますか

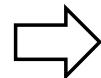
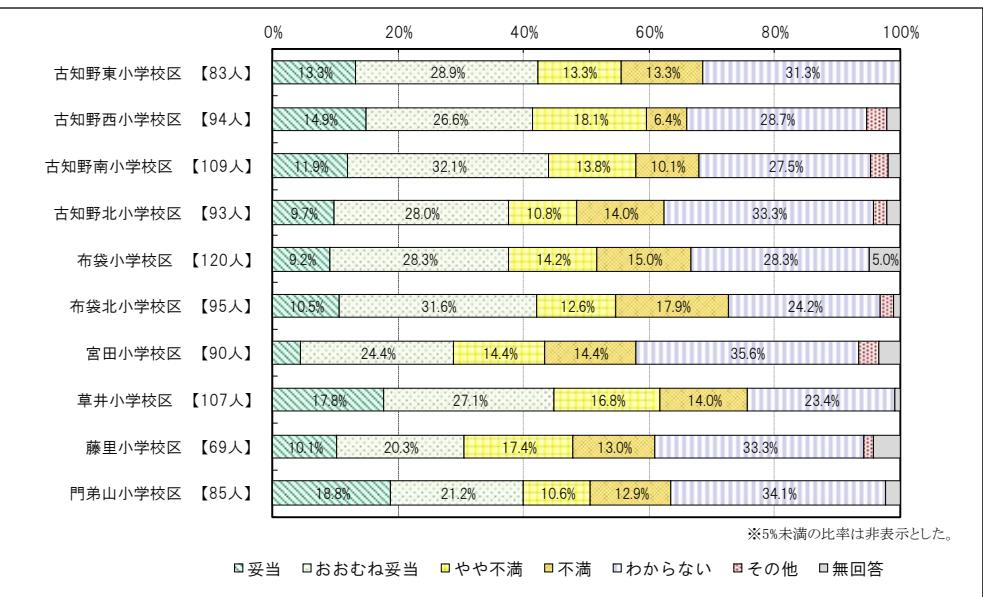
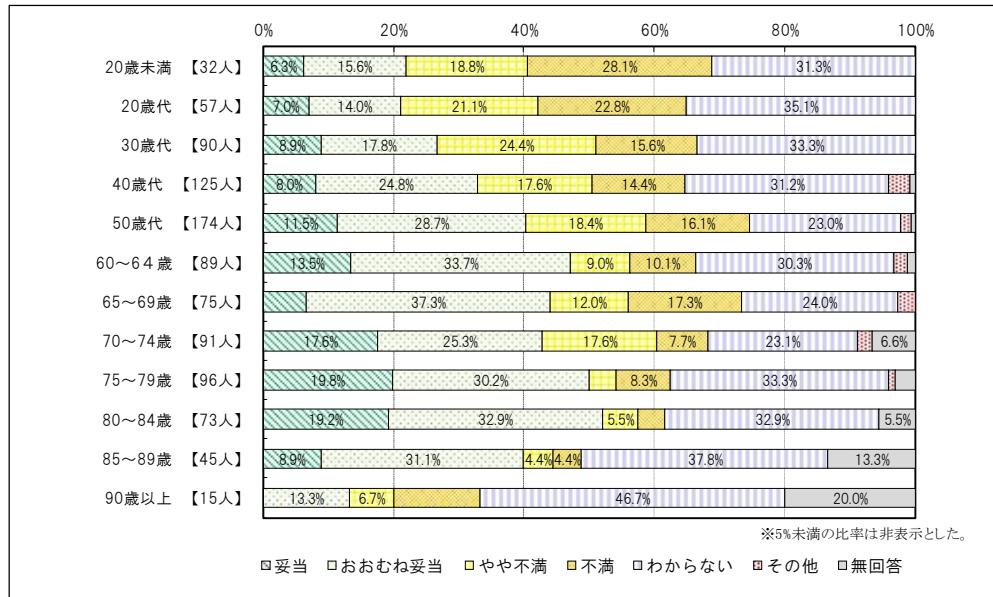


- ➡・全体の約40%が「妥当」「おおむね妥当」

- ・「妥当」「おおむね妥当」と回答した人が「不満」「やや不満」と答えた人に比べ多く、やや妥当が多い傾向にある。

いこまいCARの運行

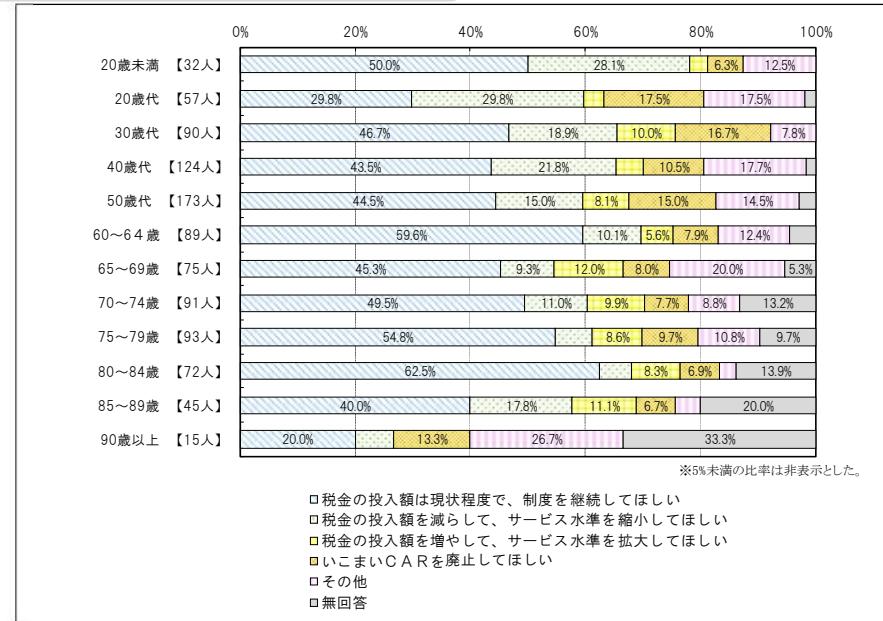
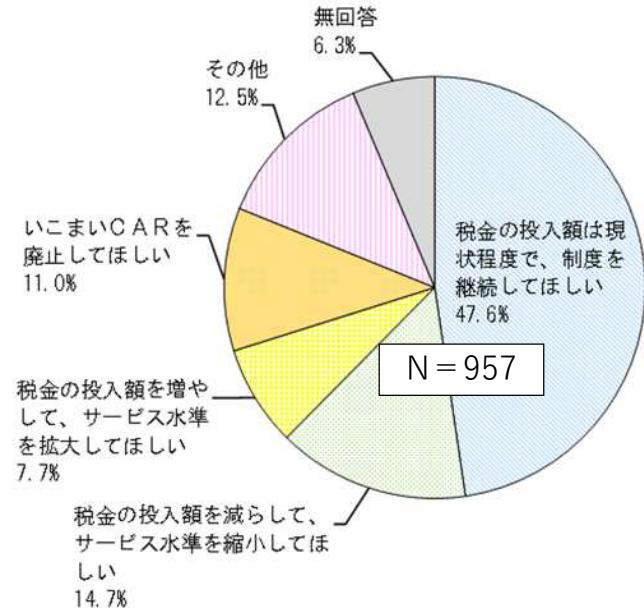
問：いこまいCARの運行をするため、年間約4,700万円（市民1人あたり約483円）の税金を投入することは、妥当だと考えますか



- ・年齢層が高くなるにつれ、「妥当」「おおむね妥当」と回答する割合が高くなる傾向
- ・宮田小学校区、藤里小学校区では「妥当」「おおむね妥当」と回答する割合が比較的低い。
- ・いこまいCARは年齢層が高い方にとって必要性の高い公共交通だと考えられる。

いこまいCARの運行

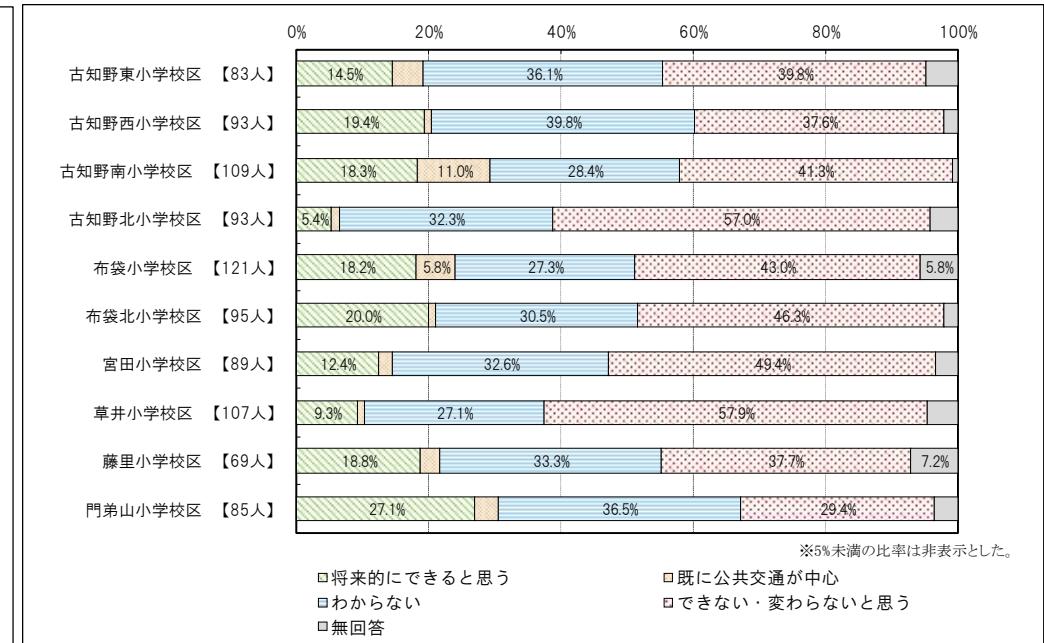
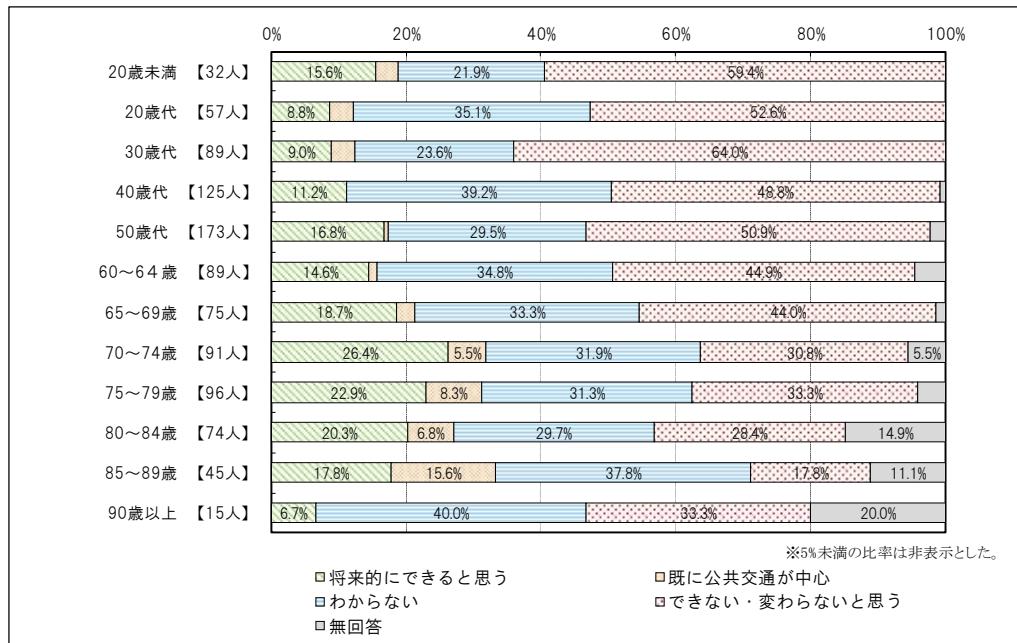
問：いこまいCAR運行事業のあり方について、どのように考えますか



- ➡
- 「税金の投入額は現状程度で、制度を継続してほしい」の回答割合が高く、60～64歳、80～84歳では特に高い。
 - 40歳代以下では「税金の投入額を減らして、サービス水準を縮小してほしい」という回答割合が増加する。
 - 自家用車を運転しにくくなる高齢者にとっていこまいCARは需要の高い公共交通であるため、現状維持の意向が高くなっていると考えられる。

公共交通中心の生活への転換

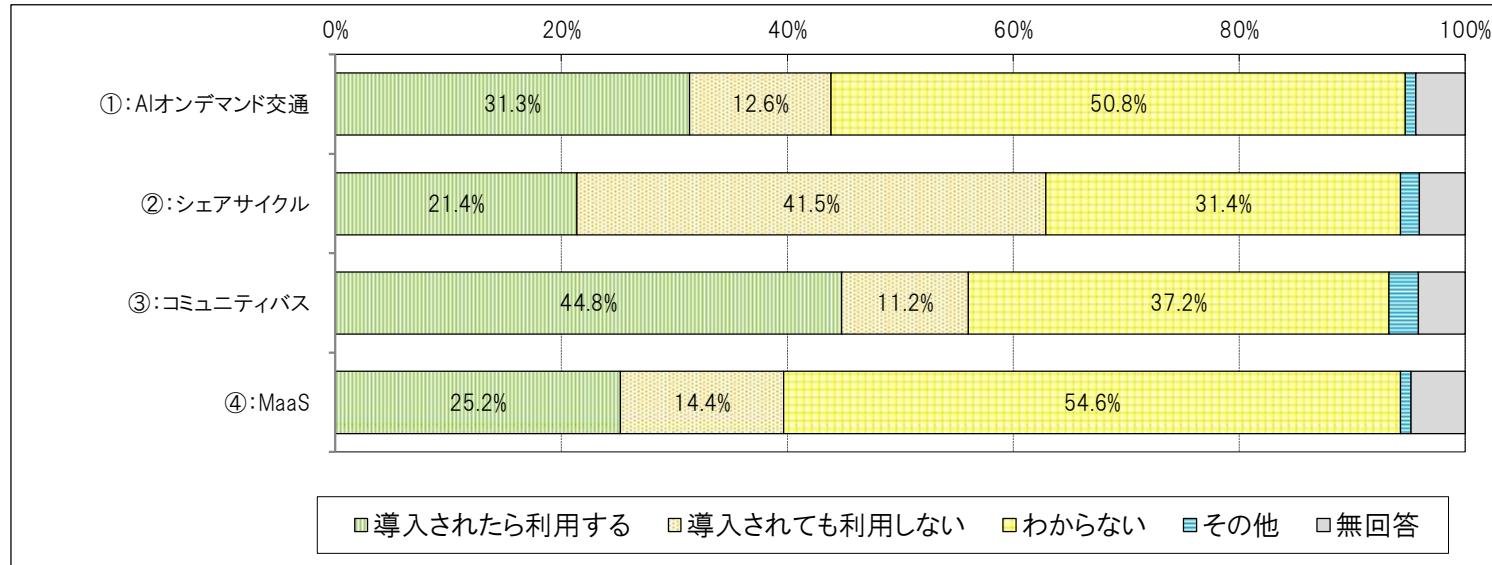
問：現状の公共交通で、自家用車中心の生活から、公共交通中心の生活に転換できると思いますか



- ➡
- 年齢の上昇とともに、「できない・変わらないと思う」の割合が低い傾向で、「将来的にできると思う」の割合が高い傾向である。
 - 古知野北小学校区、草井小学校区では「できない・変わらないと思う」の回答割合が高い。
 - 交通の不便を感じている地域ほど、現状の運行状況を考え、公共交通中心の生活への転換ができないと答える人が多いと考えられる。

新しい公共交通などの利用意向

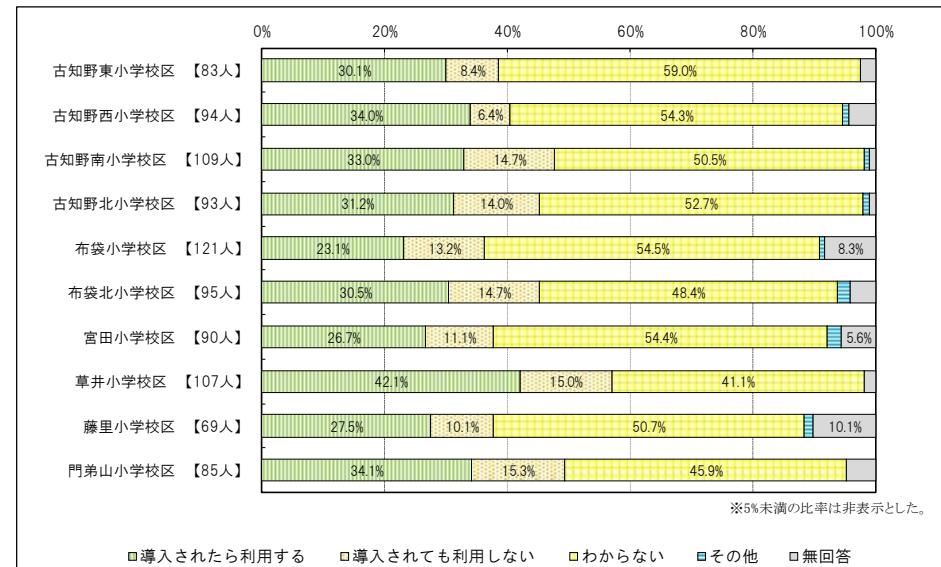
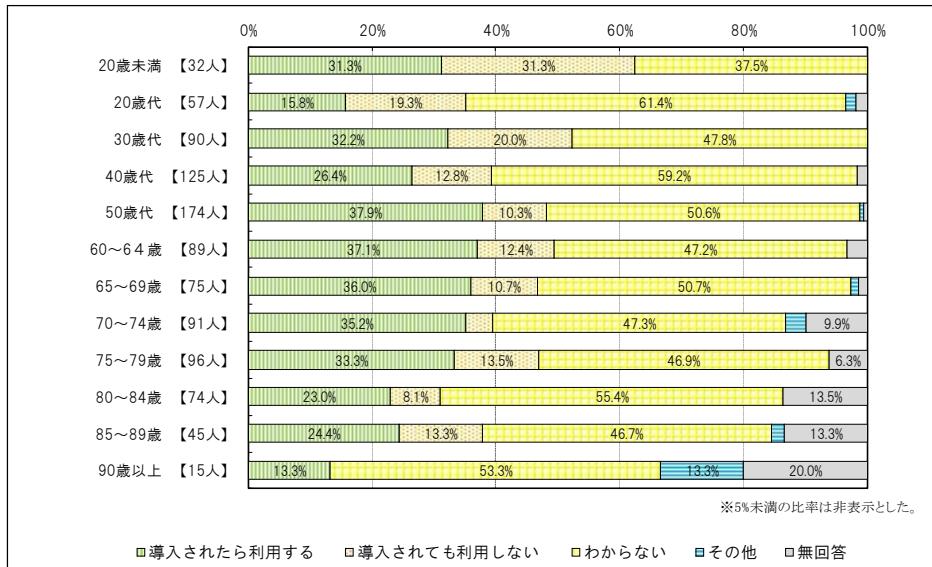
問：新しい公共交通などの利用意向についてお聞きします



- ➡
- ・ コミュニティバスは「導入されたら利用する」という回答が44.8%と最も多い。
 - ・ シェアサイクルは導入されても利用しないという回答が41.5%と多い。
 - ・ AIオンデマンド交通やMaaSはわからないという回答が多く、導入を検討する際には普及啓発が必要であると考えられる。

AIオンデマンド交通

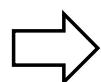
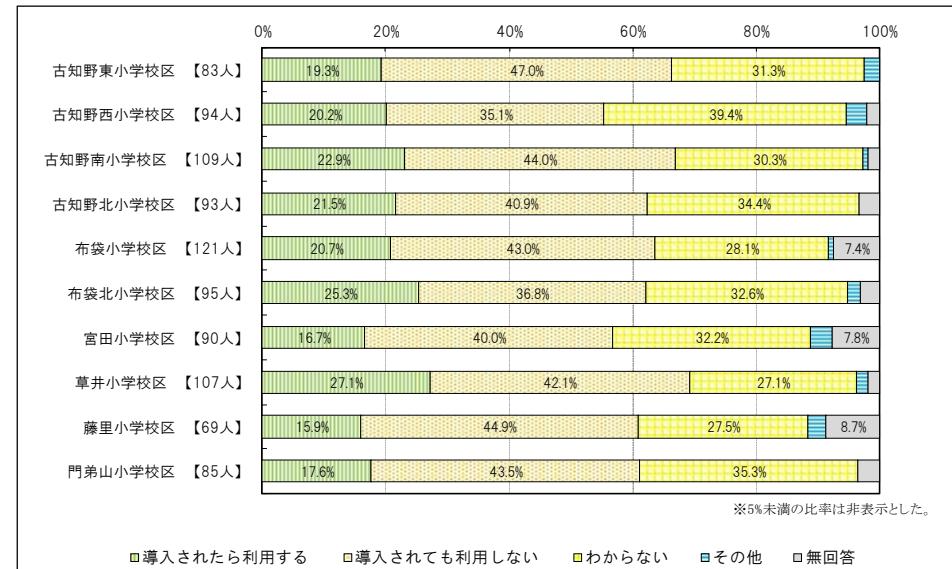
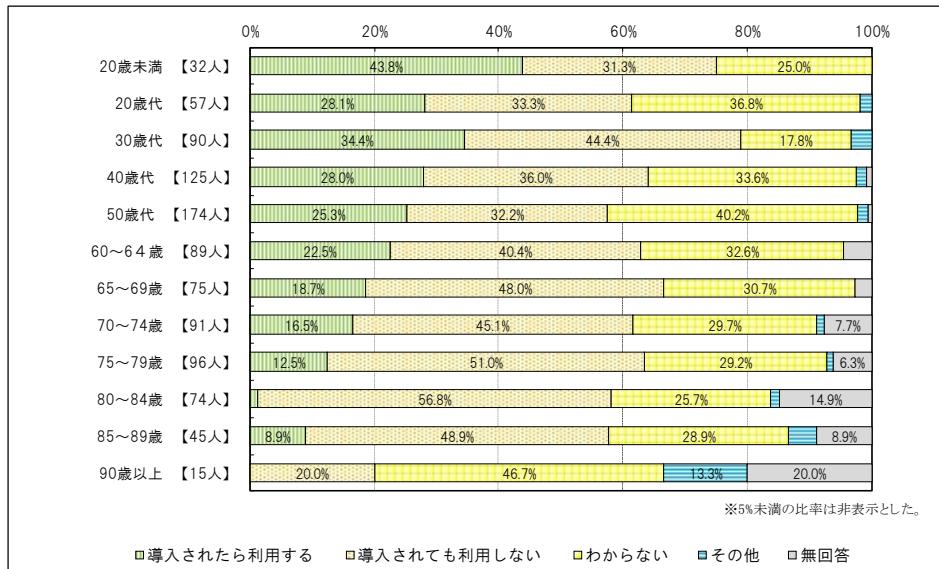
問：新しい公共交通などの利用意向についてお聞きします



- ・50歳代から75～79歳まで「導入されたら利用する」という回答が比較的多い一方、20歳代は「導入されたら利用する」という回答が少ない。
- ・居住地域別では、草井小学校区が特に「導入されたら利用する」という回答が多かった。
- ・50歳～79歳の方は今後のAIオンデマンド交通の主要な利用層になると考えられる。

シェアサイクル

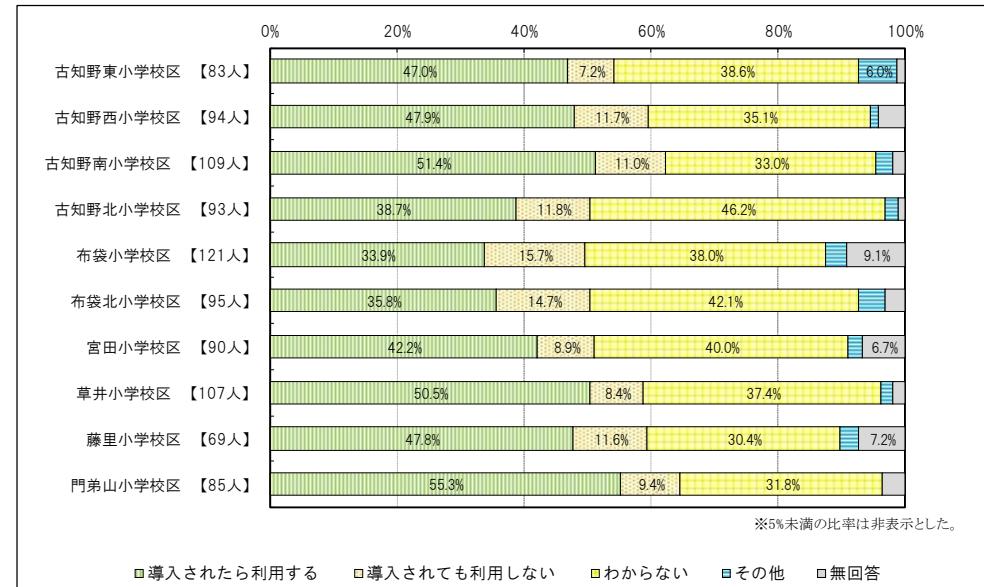
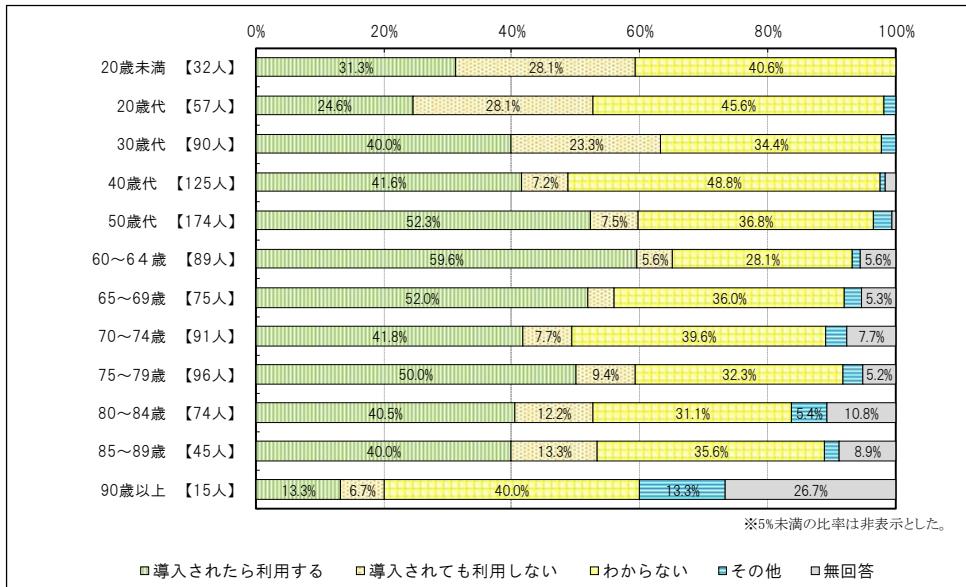
問：新しい公共交通などの利用意向についてお聞きします



- 「導入されたら利用する」という回答割合は若年層ほど高い。
- 居住地別で、草井小学校区が「導入されたら利用する」という回答割合はやや高い。
- 若者にとってシェアサイクルは利用しやすい公共交通であることが考えられる。
- 全体的に利用しないという考え方を持つ人も多い。

コミュニティバス

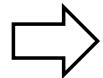
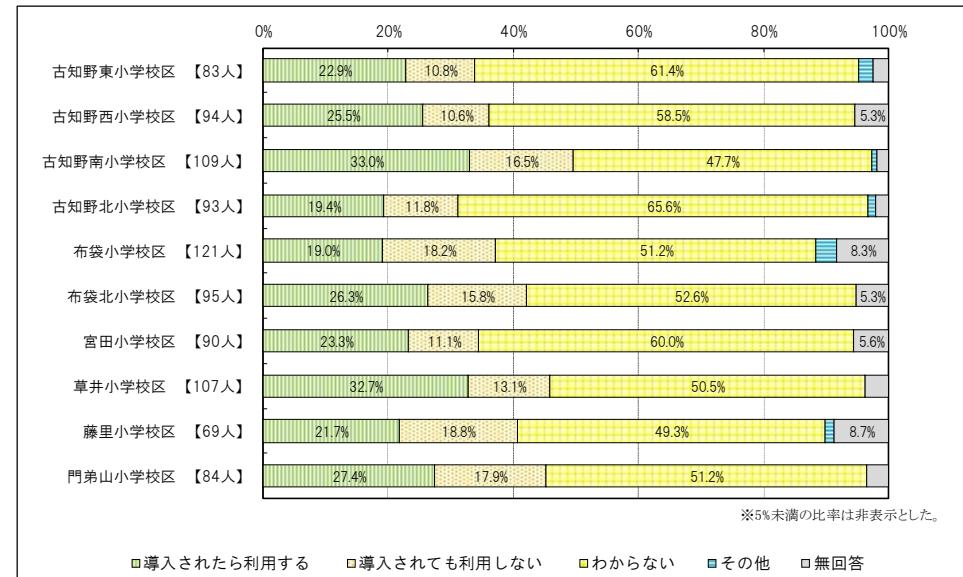
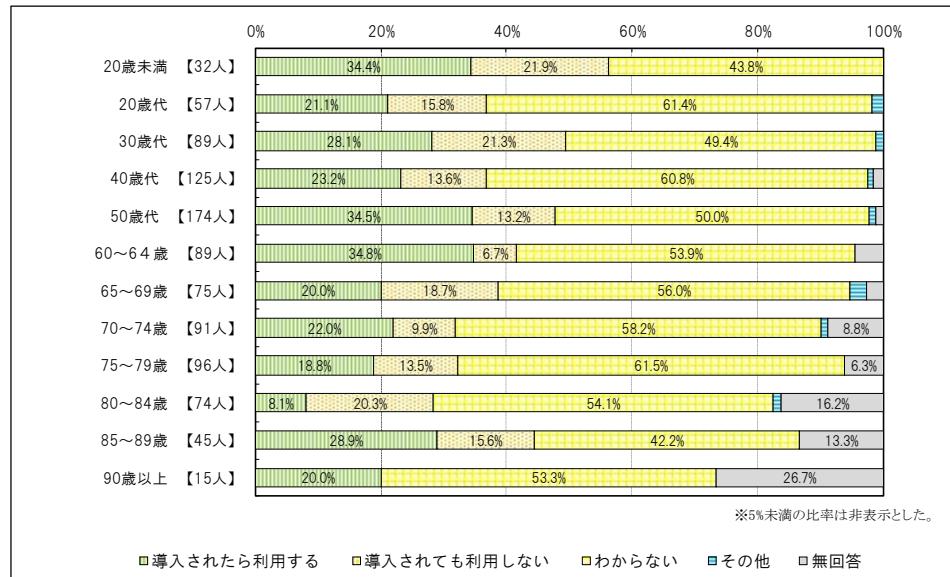
問：新しい公共交通などの利用意向についてお聞きします



-
- 年齢別では、60～64歳が「導入されたら利用する」と回答した割合が最も多かった。
 - 居住地別では、布袋小学校区、布袋北小学校区では「導入されたら利用する」の回答割合が比較的少ない。
 - 地域によって利用意向の違いが見られるが、コミュニティバスの路線の配置によって利用意向が変わる余地があると考えられる。
 - 30歳以下では利用意向が低く、若年層にコミュニティバスの需要が低いと考えられる。

MaaS

問：新しい公共交通などの利用意向についてお聞きします



- 年齢別では20歳未満、50歳代、60～64歳が「導入されたら利用する」の回答割合が高い。
- 居住地別では古知野南小学校区、草井小学校区が「導入されたら利用する」の回答割合が高い。
- MaaSの利用意向について、公共交通の不便さとの関連や特定の地域や年代でのニーズは把握できなかった。今後、MaaSの認知度を高める取り組みを進めることで、利用意向が変化する可能性がある。

まとめ（現状の課題）

【公共交通の利便性について】

- ・半数程度が公共交通の利便性に不便を感じている。理由としては、「自宅から鉄道駅やバス停が遠い」「利用できるバス停があっても運行本数が少ない・行先が目的に合わない」などが代表的。
- ・不便を感じているのは高齢者に限らず、すべての年齢層で共通の課題である。
- ・公共交通の利便性には地域差があり、古知野北小学校区、布袋北小学校区、宮田小学校区、草井小学校区などは、バス路線が少ないと感じやすい地域である。

【鉄道について】

- ・「駅のバリアフリー状況」「駅施設の使いやすさ」の満足度について、布袋小学校区が特に高い。布袋駅舎が新しいことや周辺の整備事業が大きく影響している。
- ・自由記述などで江南駅の布袋駅を比較対象に江南駅の改修を求める声などがみられた。

【名鉄バス・大口町コミュニティバスについて】

- ・特に古知野北小学校区は徒歩約10分以内にあるという回答が少なく、過半数がバス停の位置を知らないと回答しており、バス路線が充実していない地域である。
- ・上記を筆頭に、満足度の地域差が大きい。
- ・「運行本数」や「運行時間帯」は重要度が高いと考えられている項目であるが、満足度が低くなっている。

まとめ（現状の課題）

【いこまいCARについて】

- ・「名前は知っているが利用方法は知らない」が半数以上であり、認知度に課題がある。
- ・「運行時間帯」が重要と考えられているが満足度があまり高くない項目である。

【タクシーについて】

- ・「料金」が重要と考えられているが満足度があまり高くない項目である。
- ・若年層ほど「料金」の満足度は低い傾向にある。

【福祉タクシー料金助成について】

- ・「料金」が重要と考えられているが満足度があまり高くない項目である。
- ・「チケット制度」の満足度は比較的高い。

まとめ（将来的な交通施策）

【路線バスの維持について】

- 路線バスの赤字路線（利用者が少ない路線）を維持するため、年間約5,000万円（市民1人あたり約507円）の税金を投入することについて、「妥当」「おおむね妥当」が半数程度であるが、古知野北小学校区、布袋北小学校区などの交通利便性が低い地域ではその割合が低くなっている。
- 維持が困難になった場合の対策について、「バス路線を廃止して、バスに代わる新しい公共交通を導入する」が全体では最も多いうが、古知野西小学校区、古知野南小学校区、藤里小学校区などバスの利便性が高い地域では回答割合が下がり、バス路線の廃止は避けたい傾向にある。

【いこまいCARの運行について】

- いこまいCARの運行をするため、年間約4,700万円（市民1人あたり約483円）の税金を投入することについて、「妥当」「おおむね妥当」が4割程度であった。
- 今後のあり方について、「税金の投入額は現状程度で、制度を継続してほしい」という回答は半数程度で、「廃止してほしい」は1割にとどまった。

まとめ（新しい公共交通）

【AIオンデマンド交通について】

- ・ AIオンデマンド交通やMaaSは「わからない」という回答が多く、導入を検討する際には普及啓発が必要であると考えられる。
- ・ 50歳代から75～79歳まで「導入されたら利用する」という回答が比較的多い。
- ・ 20歳未満、20歳代、30歳代は「導入されても利用しない」という回答が比較的多い。
- ・ 草井小学校区が「導入されたら利用する」という回答が比較的多い。

【シェアサイクルについて】

- ・ シェアサイクルは選択肢の中で「導入されても利用しない」という回答が最も多い。
- ・ 「導入されたら利用する」という回答割合は若年層ほど高い。

【コミュニティバスについて】

- ・ コミュニティバスは選択肢の中で60～64歳が「導入されたら利用する」という回答が最も多い。
- ・ 60～64歳が「導入されたら利用する」と回答した割合が最も多かった。
- ・ 布袋小学校区、布袋北小学校区では「導入されたら利用する」の回答割合が比較的少ない。

【MaaSについて】

- ・ MaaSは「わからない」という回答が多く、導入を検討する際には普及啓発が必要であると考えられる。
- ・ 20歳未満、50歳代、60～64歳が「導入されたら利用する」の回答割合が比較的高い。
- ・ 古知野南小学校区、草井小学校区が「導入されたら利用する」の回答割合が比較的高い。